

第17回影響調査 感染再拡大傾向の中で全国旅行支援事業等により社会経済活動が活発化した11月の売上高等を調査

令和4年11月の社会経済情勢

県内49商工会の会員事業者490者を対象とした令和4年11月末現在の経営への影響調査は、コロナ禍が始まった令和2年3月から2ヶ月毎に調査を開始以来、第17回目となった。

第7波による「BA.5 対策強化宣言」が9月中旬には解除され、10月11日から「全国旅行支援事業」が始まり、秋の観光シーズンにより11月は社会経済活動が活発化した時期であったが、一方では、昨年秋からの原材料高・物価高・円安・物価高等の影響が長期化し、「第8波の入り口」とも言われる感染再拡大も始まり、先行き不安感・不透明感が増した時期でもあった。

今回の主な調査項目

1. 調査対象490者の令和4年11月の売上高を、①県内感染者数が3人に留まる等第5波が収まって社会経済活動が活発化していた令和3年11月、②令和元年10月の消費税率アップ後の影響が残っていたコロナ禍前の令和元年11月との売上高等を比較(17回目)
2. 原油高・原材料高・物価高・円安等の影響を昨秋11月から継続調査(7回目)
3. コロナ禍が長期化する中で、コロナ関連融資の借入状況や返済見込み調査(3回目)
4. 第8波に向けた「医療非常事態宣言」等による対応方針への評価(初調査)
5. 「全国旅行支援事業」の波及効果を調査(初調査)
6. 国、県、市町村、金融機関、商工会等に対する意見や要望等の生の声を聴取
7. 商工会会員事業所18,116者を対象とした10月、11月の倒産・廃業件数を調査

今後の見通し

12月中旬現在、第8波による新規感染数が再拡大傾向にあるが、ワクチン接種が4回目、5回目と徐々に進んでいることもあり、国や県も「医療提供体制の維持と社会経済活動の両立」を基本として、行動制限等を行わない方針である。

これから1月にかけては、「全国旅行支援事業」の継続・再開や、忘新年会・クリスマス・正月・初売り等のイベントが続き、一年でも大きな書き入れ時となることが期待される一方で、物価高等の長期化に加えて、2年前の第3波、1年前の第6波の拡大により大きなブレーキがかかった時期でもあるため、先行きに対する不安感・不透明感も強い。

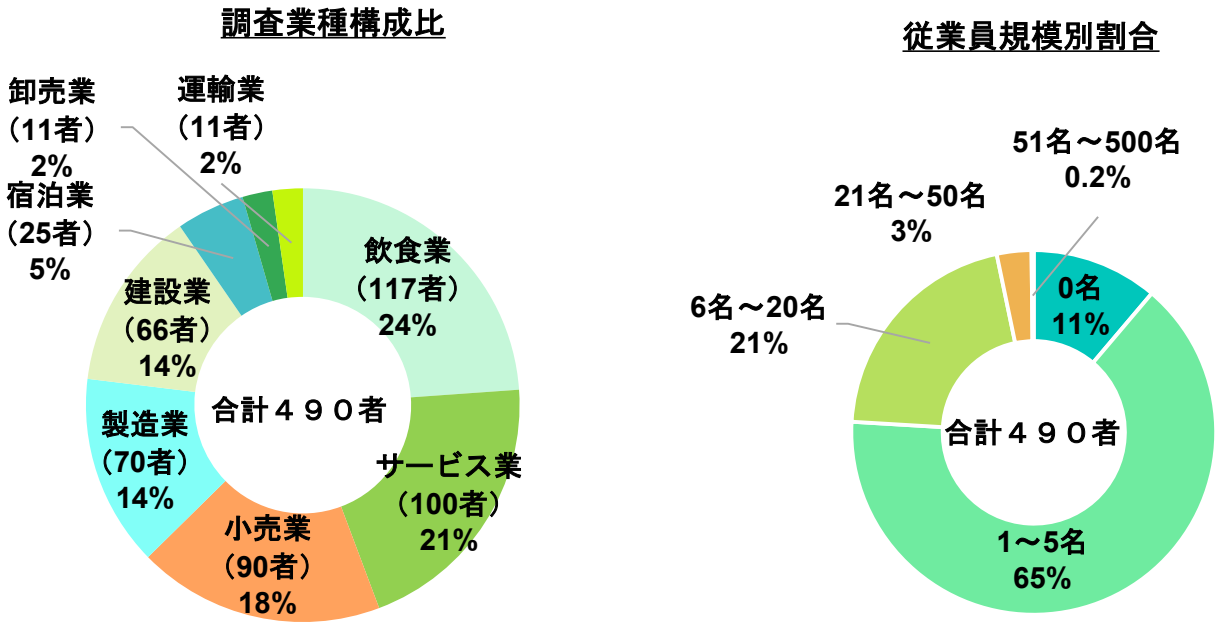
商工会連合会としては、コロナ禍の影響が続く間は当調査を継続して、その結果を会員事業者支援に活用するとともに、国や県等の感染症対策や支援策検討の参考となるよう調査結果を報告して、必要に応じて意見交換や要望活動を行って参る。

1. 会員事業者への影響調査

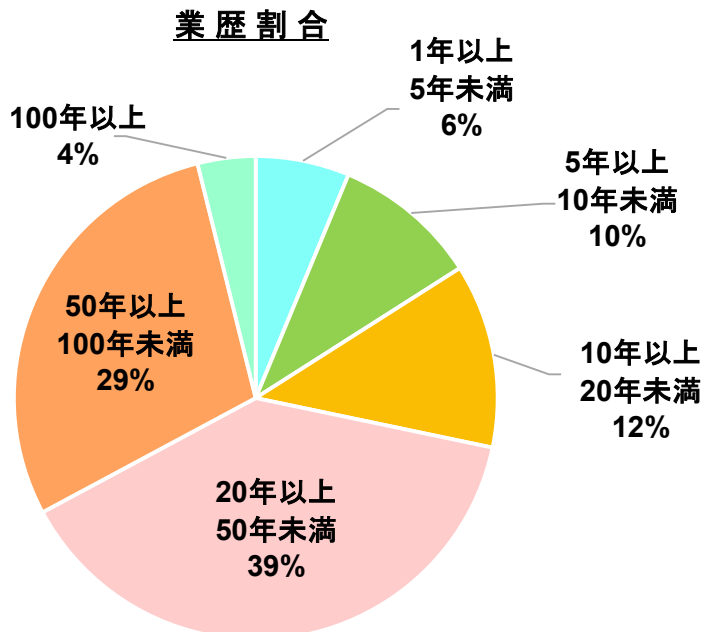
■新型コロナウイルス感染症に係る「第17回経営への影響追跡調査」を実施

- ・調査時点 令和4年11月30日時点
- ・調査対象 県内49商工会 会員事業所 **490者**（1商工会当たり10者程度抽出）
- ・調査方法 商工会が2ヶ月毎に毎回同一会員事業所にヒアリングのうえウェブ回答

(1) 調査業種の構成比 / 従業員規模 (n=490)



(2) 業歴 (n=490)



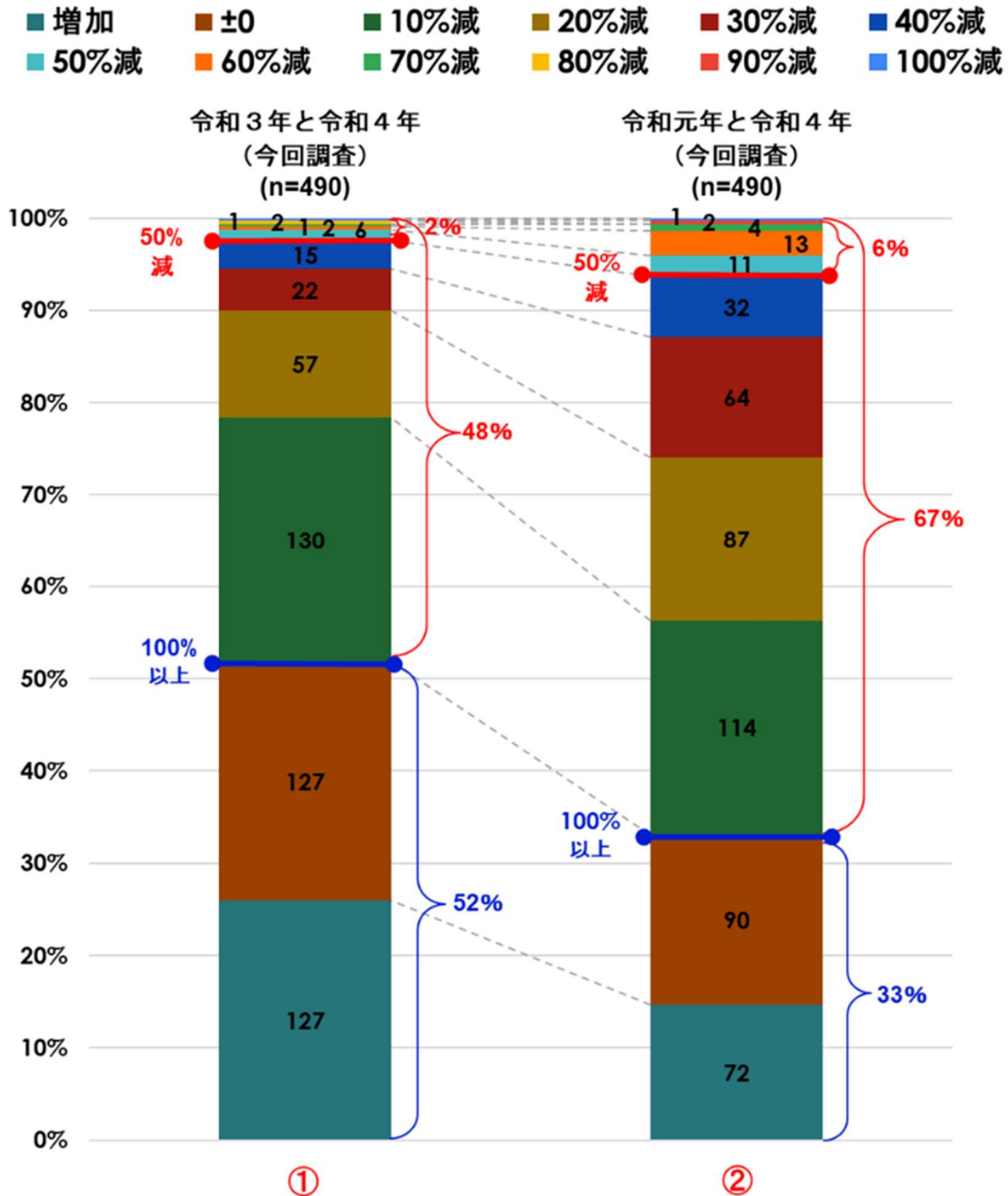
(3) 売上高の比較

ア ①対前年同月比、②対コロナ禍前同月比 売上高の推移

※別紙

イ ①令和3年と令和4年、②令和元年と令和4年の売上高比較

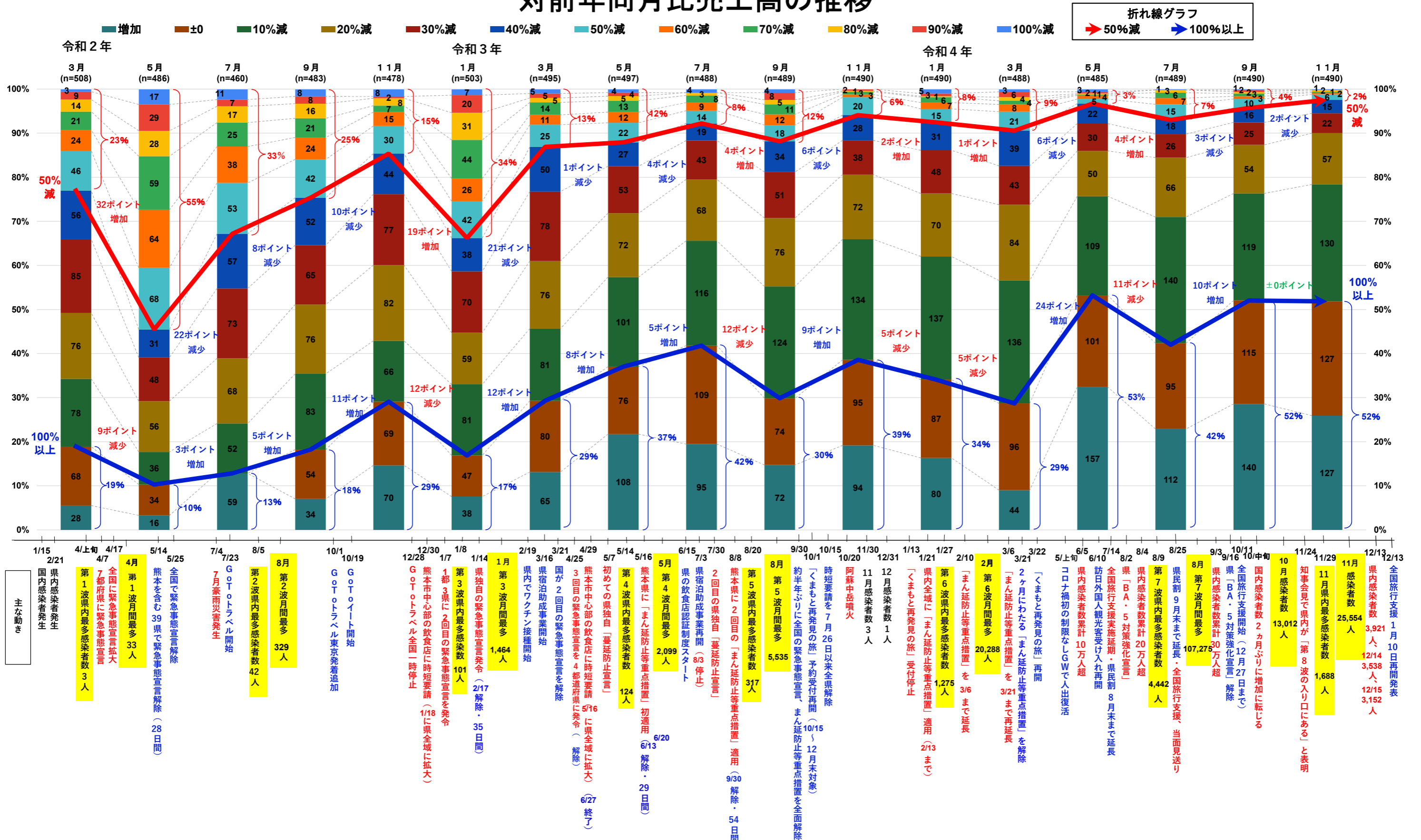
①令和3年と令和4年、②令和元年と令和4年
11月の売上高の比較



① 感染者数が県内で月間3人と大きく減少して社会経済活動が活発化していた令和3年11月との売上高比較では、100%以上が半数を超える52%となった。

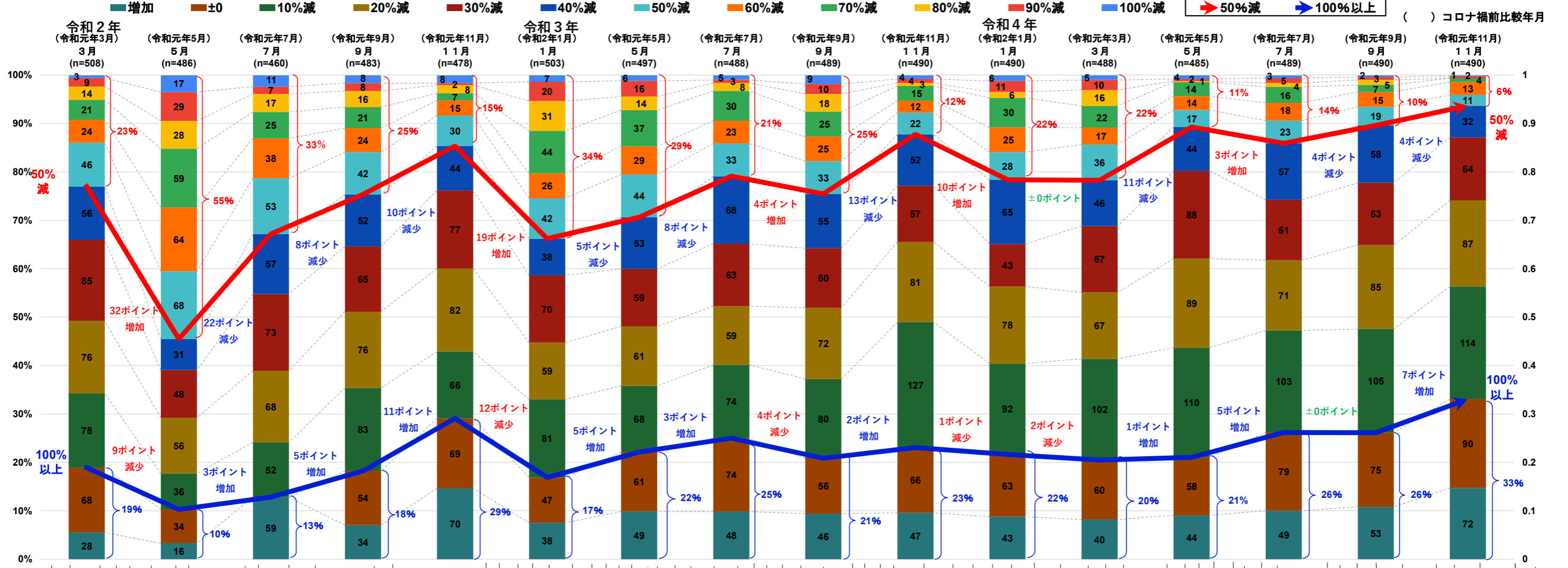
② 令和元年10月の消費税率アップ後の反動があった令和元年11月との売上高比較では、100%以上が1/3 (33%) となり、調査開始以来コロナ禍前との比較では最も高くなった。しかしながら、依然として2/3 (67%) の事業者の売上高が、コロナ禍前を下回っている。

対前年同月比売上高の推移



対コロナ禍前同月比売上高の推移

折れ線グラフ
 → 50%減 → 100%以上



主な動き

- 1/15 国内感染者発生
- 2/21 県内感染者発生
- 4/上旬 第1波県内最多感染者数3人
- 4/7 7都府県に緊急事態宣言
- 4/17 全国に緊急事態宣言拡大
- 4月 第1波月間最多33人
- 5/14 熊本を含む39県で緊急事態宣言解除(28日間)
- 5/25 全国で緊急事態宣言解除
- 7/14 7月豪雨災害発生
- 7/23 GOTOトラベル開始
- 8/5 第2波県内最多感染者数42人
- 8月 第2波月間最多329人
- 10/1 GOTOトラベル東京発着追加
- 10/19 GOTOトラベル開始
- 12/28 1都3県に2回目の緊急事態宣言を発令
- 1/7 熊本市中心部の飲食店に時短要請(1/18に県全域に拡大)
- 1/8 GOTOトラベル全国一時停止
- 1月 第3波県内最多感染者数101人
- 1/14 県独自の緊急事態宣言発令(2/17解除・35日間)
- 2/19 県内泊助成事業開始
- 3/16 県内でワクチン接種開始
- 3/21 熊本市中心部の飲食店に時短要請
- 4/29 3回目の緊急事態宣言を4都道府県に発令
- 5/7 国が2回目の緊急事態宣言を解除
- 5/14 初めての県独自「蔓延防止宣言」
- 5/16 熊本市中心部の飲食店に時短要請
- 5/16 5/16に県全域に拡大
- 5/27 6/27終了
- 5月 第4波月間最多2,099人
- 6/15 熊本県に「まん延防止等重点措置」初適用
- 6/13 解除・29日
- 7/30 9/30 解除・54日間
- 7/30 熊本県に「まん延防止等重点措置」適用
- 8/20 第5波県内最多感染者数317人
- 8月 第5波月間最多5,535人
- 9/30 約半年ぶりに全国の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置を全面解除
- 10/1 阿蘇中岳噴火
- 10/11 時短要請を7月26日以来全県解除
- 10/15 「くまもと再発見の旅」予約受付再開
- 11/30 11月感染者数3人
- 12/31 12月感染者数1人
- 12/31 「くまもと再発見の旅」受付停止
- 1/21 県内全域に「まん延防止等重点措置」適用
- 1/27 「くまもと再発見の旅」受付再開
- 2/10 第6波月間最多20,288人
- 2月 第6波月間最多20,288人
- 3/21 「まん延防止等重点措置」を3/21まで再延長
- 3/22 「くまもと再発見の旅」再開
- 3/22 2ヶ月にわたる「まん延防止等重点措置」を解除
- 5/上旬 訪日外国人観光客受け入れ再開
- 6/10 県内感染者数累計10万人超
- 6/10 全国旅行支援実施延期・県民割8月末まで延長
- 7/14 県内感染者数累計20万人超
- 8/2 県「BA・5対策強化宣言」
- 8/9 県内感染者数累計20万人超
- 8/25 県民割9月末まで延長・全国旅行支援、当面見送り
- 8月 第7波月間最多107,275人
- 9/3 第7波県内最多感染者数4,442人
- 9/16 全国旅行支援開始(12月27日まで)
- 10/11 県内感染者数累計30万人超
- 10/11 県「BA・5対策強化宣言」解除
- 10/11 国内感染者数2カ月ぶりに増加に転じる
- 10月 感染者数13,012人
- 11/24 11月県内最多感染者数1,688人
- 11/29 知事会見で県内が「第8波の入り口にある」と表明
- 11月 感染者数25,554人
- 12/13 県内感染者数3,921人
- 12/14 3,538人
- 12/15 3,152人
- 12/13 全国旅行支援1月10日再開発表

ウ 令和3年11月と令和4年11月の比較で売上高プラス影響要因【対前年比割合100%以上の事業者】

【製造業】

- ・旅行支援による卸先の注文増。(小国町商工会)
- ・販売単価を上げたことから100%であった。(和水町商工会)
- ・感染者数減少による社会活動の活性化。10月の値上げ。(高森町商工会)
- ・半導体需要増に伴う、メンテナンス及び作成業務の活発化。(宇土市商工会)
- ・催事が増え、来場者も増えてきたことで売上増加に繋がった。(西原村商工会)
- ・観光客の増加で道の駅の売上げが増加。(阿蘇市商工会)

【建設業】

- ・コロナの影響はなく、業況は安定している。(熊本市植木町商工会)
- ・復興需要。(芦北町商工会)

【運輸業】

- ・観光需要の回復。(高森町商工会)
- ・観光の旅客運送バスを行っているが、感染前の需要がまったくもどっていない。減少したままに変化がないだけの数値。(山鹿市商工会)
- ・各種支援策のおかげでバスの利用が増加したため。(山都町商工会)

【小売業】

- ・昨年からすると仕入価格が高騰し、高騰した分を販売価格に上乗せできたので、売上高は上がっている。(熊本市城南商工会)
- ・再構築補助事業により年齢層が若くなったことより、購買単価が増加したことによる。(和水町商工会)
- ・人の動き(観光客)が活発になってきた。全国支援クーポン券利用による経済活動への効果。(南阿蘇村商工会)
- ・様々な行事、活動が再開され、経済活動が活発化し始めた。(山都町商工会)

【宿泊業】

- ・行動制限がなくなったから、また、旅行支援の効果は大きい。(山鹿市商工会)
- ・旅行支援による宿泊客増。(小国町商工会)
- ・工事関係の長期宿泊者があったため。(八代市商工会)
- ・全国旅行支援等があったため。(南阿蘇村商工会)

【飲食業】

- ・経済活動が始まった。全国旅行支援の影響がある。(天草行き観光客が増えた)(宇城市商工会)
- ・11月はいつも暇だが、忘年会を早めにされているお客様が多くいる様子。(宇城市商工会)
- ・旅行支援で客が増えている。(南阿蘇村商工会)
- ・飲食業に対する規制がなくなり、経済活動が活発になった。旅行や飲食に対し行政の援助等があり、その分が売上増につながった。(宇土市商工会)
- ・TSMCの工事のお客様、ホテルが多くなったようです。町のクーポンを使って頂く方も多くなった。(菊陽町商工会)
- ・紅葉シーズンで天気も良かったことと、海外からのお客さんも増えて来ている。(産山村商工会)
- ・昨年は、宴会や大人数の集まりは、用心している様子がまだ見られた。なので、昨年の売上げが悪かったため、今年が100以上になってはいるが、やはりまだまだコロナ前とは、比較にならない。(宇土市商工会)

【サービス業】

- ・コロナの間のリモートなどでの勉強会などの参加により技術力のUP。(熊本市北部商工会)
- ・本年は外出等の自粛もなかったことで県内外からの観光客の来客があった。旅行代理店からの食事予約や観光バスの立ち寄りも10月以降、徐々に増えてきた。10月11日からの全国旅行支援でのクーポン利用も売上増の要因となっている。(天草市商工会)

エ 令和3年11月と令和4年11月の比較で売上高マイナス影響要因【対前年比割合50%以下の事業者】

【製造業】

- ・新築も減り、個人のお客様がコロナ禍になってから一番少ない。(過去3年のうち)
(水上村商工会)

【飲食業】

- ・来客者の少人数化のため。(南小国町商工会)
- ・客数減。(阿蘇市商工会)

オ 令和元年11月と令和4年11月の比較で売上高プラス影響要因【対3年前比割合100%以上の事業者】

【製造業】

- ・3年前から売上げが上がった理由としては、オープンから徐々に知名度が上がり、固定客も増えてきたからではないかと思えます。(菊陽町商工会)
- ・コロナでの巣ごもり需要の影響があると思われる。(菊池市商工会)
- ・人流の回復とキッチンカーの導入。(阿蘇市商工会)

【建設業】

- ・消費税増税後は、民間からの受注が大きく落ち込んだため。(熊本市植木町商工会)
- ・復興需要。(芦北町商工会)

【運輸業】

- ・新荷主の開拓。(宇土市商工会)

【卸売業】

- ・取引先が3年前より増加しており、増収である。(産山村商工会)

【小売業】

- ・消費税増税直後は大きく売上げが下がったので、比較すると現在の売上高が高い。
(熊本市植木町商工会)
- ・仕入れ値が上がり、ガス料金の値上げを行ったため。(熊本市富合商工会)
- ・物価高による価格転嫁。(上天草市商工会)
- ・増税後は売上げが落ちたため。(高森町商工会)

【宿泊業】

- ・行動制限がなくなったから、また、旅行支援の効果は大きい。(山鹿市商工会)
- ・コロナ前は例年工事関係者の長期宿泊者があっていたが、今年はそれが戻ってきた感がある。
(八代市商工会)
- ・コロナによるキャンプブームの後押しによる影響。(西原村商工会)
- ・TSMCの影響もあり、長期滞在が増えたため。(大津町商工会)
- ・全国旅行支援等があったため。(南阿蘇村商工会)

- ・観光客の宿泊増と九電苓北発電所定期修理工事滞在者による安定した売上げ。(苓北町商工会)

【飲食業】

- ・テイクアウトを充実させ、3品目から8品目に増やした。全体の単価も上げた事による売上げアップ。(南阿蘇村商工会)
- ・他県からのお客様が増えた。今日単価を上げました。(菊陽町商工会)
- ・SNSやインターネットでお店が良く知られる様になり、初めて来られるお客さんも多くなった。(産山村商工会)
- ・TSMC関連のお客様が多かったから。(大津町商工会)

【サービス業】

- ・増税時は一過性ではあったものの大幅に売上げが落ち込んだ。(熊本市植木町商工会)
- ・R1. 11期が増税後で売上減少していたため、100%超となった。(西原村商工会)

カ 令和元年11月と令和4年11月の比較で売上高マイナス影響要因【対3年前比割合50%以下の事業者】

【製造業】

- ・コロナ前の状態にはまだまだ戻っていない。(高森町商工会)
- ・イベント数の減少、観光客の減少などがあげられる。(苓北町商工会)

【建設業】

- ・消費税増税の影響をかなり受けたため。(錦町商工会)

【運輸業】

- ・インバウンド需要、国内団体客の需要が無いから。(山鹿市商工会)

【卸売業】

- ・コロナ禍で出張(営業)が出来ないので。電話だけでは品物が見えないので商品が売れない。(八代市商工会)

【小売業】

- ・コロナで取り引き先店舗が回復してないため。(熊本市北部商工会)
- ・3年前は出店をしていたが、出店場所もコロナでなくなり売上げがなくなった。新たに開拓しようとするの出費がかさなり赤字になるので規模縮小を敢えて選んでいる。(熊本市城南商工会)
- ・11月は第8波の影響で少ない。(大津町商工会)

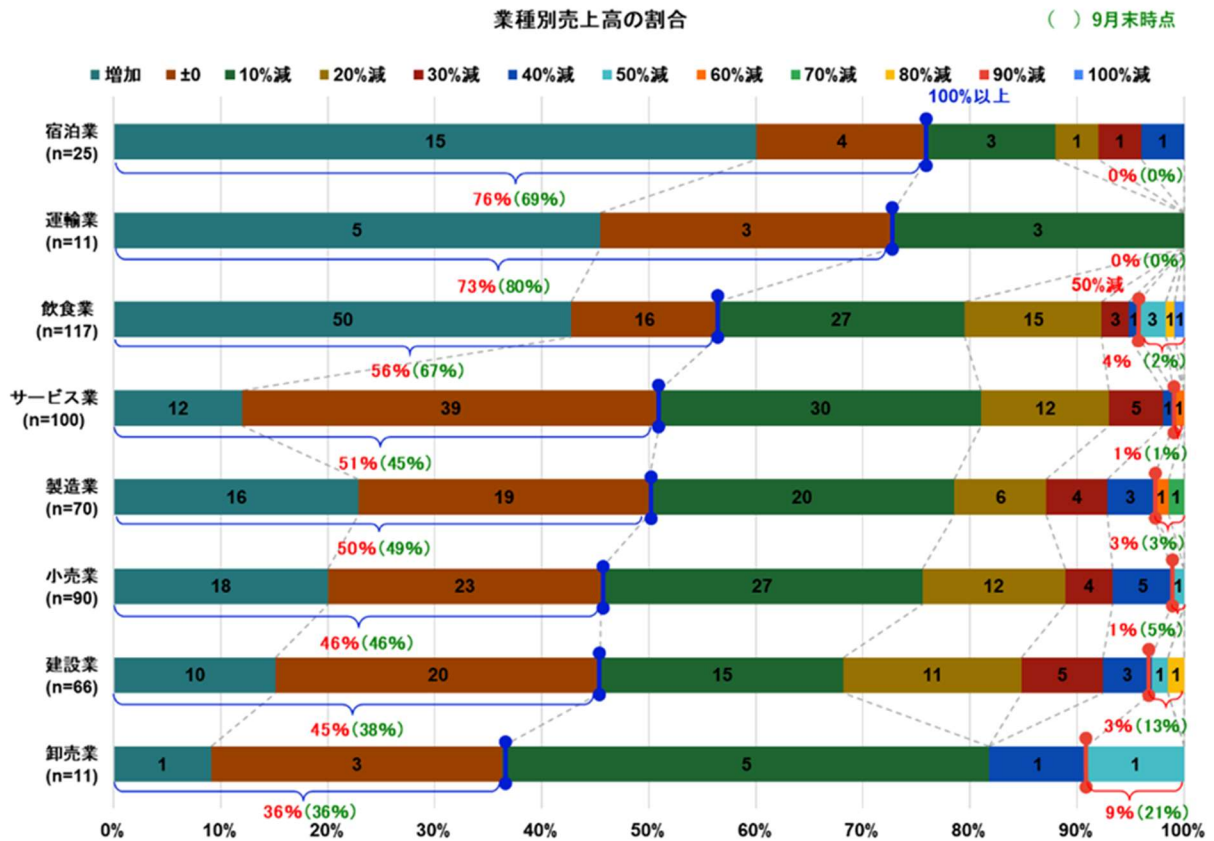
【飲食業】

- ・感染拡大の影響により宴会キャンセルが多く、売上げが減少した。(和水町商工会)
- ・忘年会等の減少。豪雨災害の影響により利用客が激減。(八代市商工会)
- ・家族・友人関係の食事のみで、ビジネス系の会合がほぼゼロ。(山都町商工会)

【サービス業】

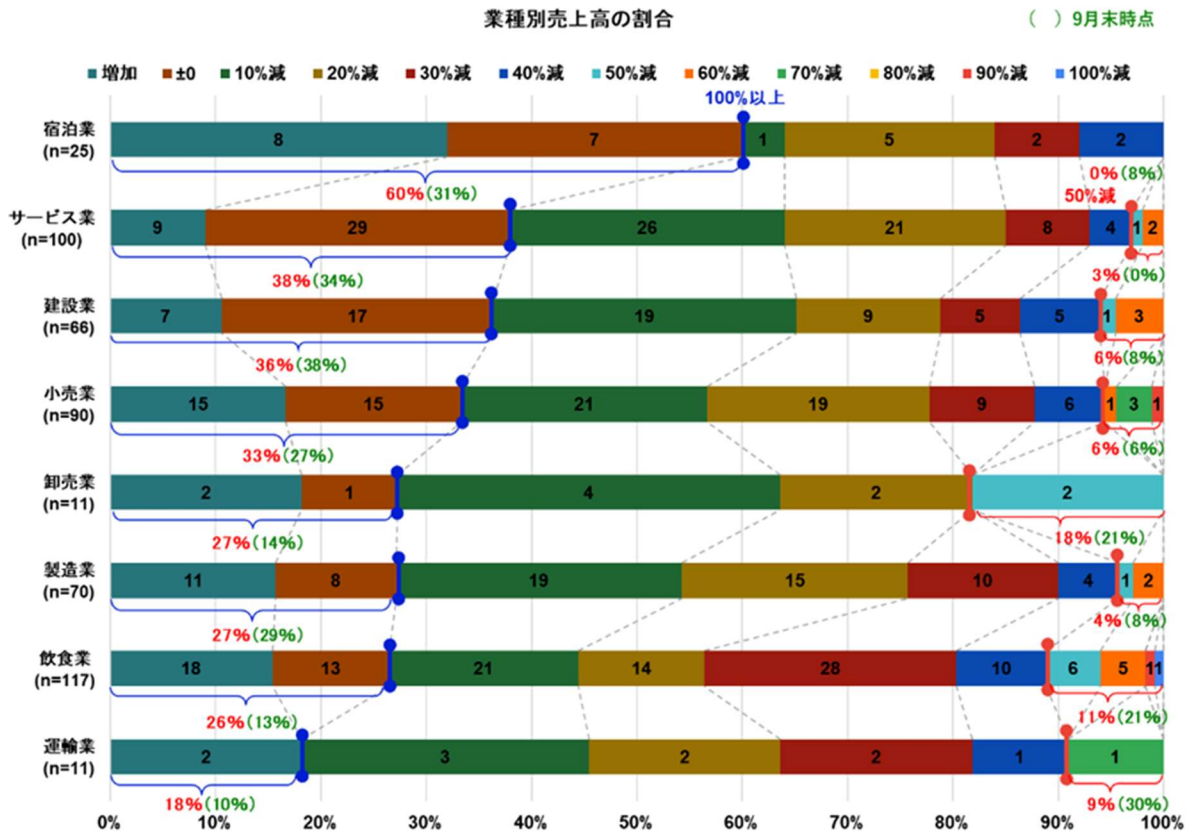
- ・コロナで一週間休業。(熊本市北部商工会)
- ・町の人口減少。(甲佐町商工会)

キ 業種別の売上高の対前年同月比割合について 【11月30日時点】



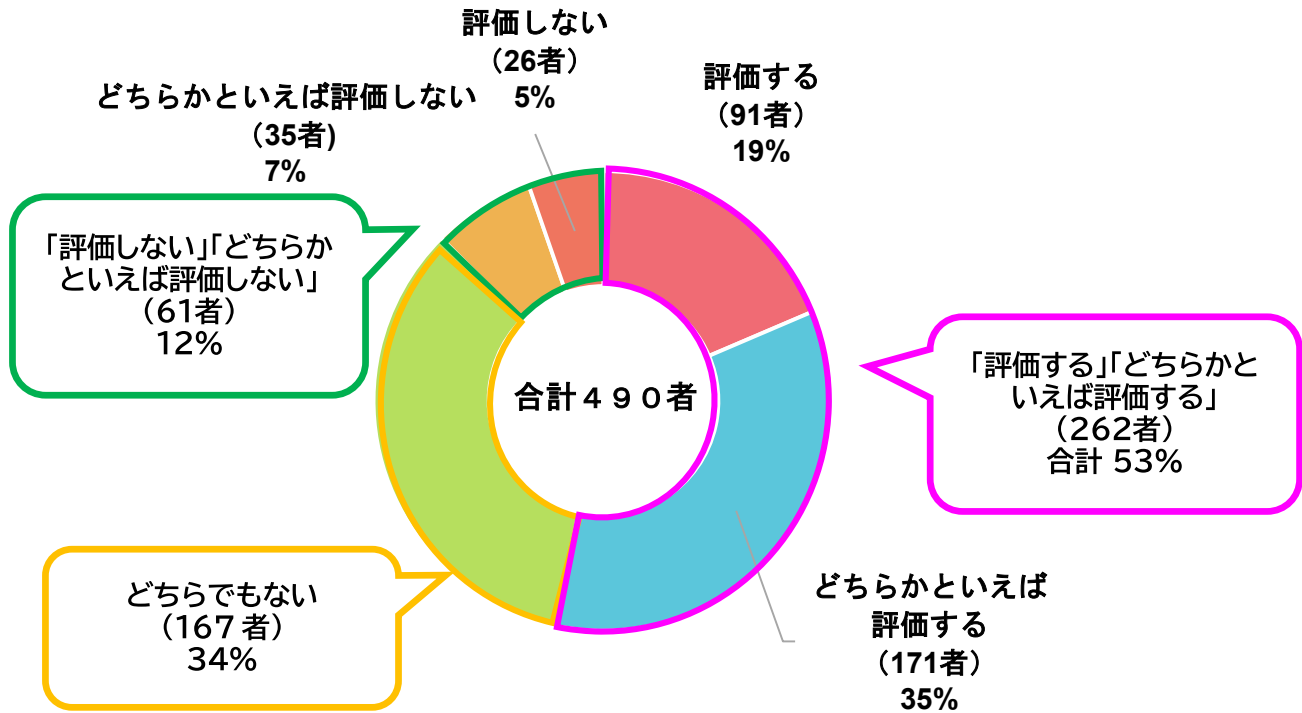
※全国旅行支援事業等の効果があった「宿泊・運輸・飲食業の3業種」が、9月末調査に引き続き、100%を上回った割合が高くなった。

ク 業種別の売上高の対コロナ禍前同月比割合について 【11月30日時点】



※全国旅行支援事業等の効果により、宿泊業の売上高は60%の事業者がコロナ禍前の令和元年11月を上回ったが、行動規制なしで回復傾向にある飲食業の売上高は、100%を上回った事業者が26%に留まり約3/4(74%)がコロナ禍前を下回った。

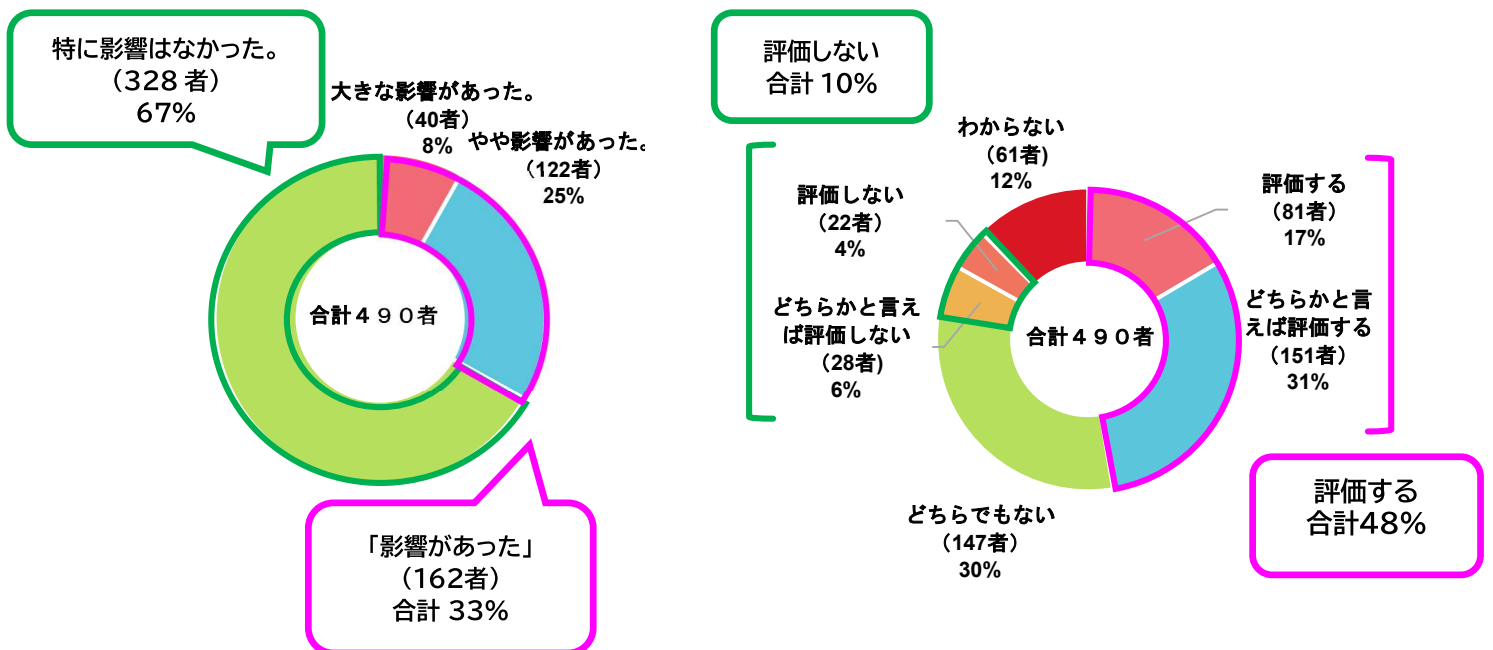
(4) 「第8波」に向けた「医療非常事態宣言」「医療ひっ迫防止対策強化宣言」による対応方針について
ア 対応方針への評価



※第8波に向けた対応方針に関しては、半数を超える53%が「評価する」と回答し、「評価しない」の12%を大きく上回った。

下記の第7波時の「BA.5対策強化宣言」に対する評価を聞いた9月末時点調査での「評価する」の合計48%を5ポイント上回った。

【参考】「第7波」における「BA.5対策強化宣言」が経営に与えた影響及び評価 (9月末調査)



※「BA.5対策強化宣言」が経営に与えた影響は、「影響があった」が全体の1/3 (33%)、「特に影響はなかった」が2/3 (67%)となった。

※「BA.5対策強化宣言」を「評価する」との回答が合計で約半数の48%となり、「評価しない」との回答合計10%を大きく上回った。

イ 対応方針への評価の理由や国・県等に対する意見・要望

[1. 評価する。]

【製造業】

- ・コロナ対策を行いながら、社会経済活動は維持してほしい。(南小国町商工会)
- ・いつまでも社会経済を止めたままでは、あらゆる業種にも影響が出てくる。(水上村商工会)

【建設業】

- ・いつまでもコロナ禍ではダメだと思うから。(上天草市商工会)

【小売業】

- ・11月5～6日にかけて「ふるさと祭り」の代替イベントを商工会青年部主体として行った。工事現場で使用するプラスチックフェンスで会場を仕切り、検温・消毒を行い、コロナ対策を試行錯誤しながらの開催であった。そのプロセスが良い経験となり、結果もついてきた。国、県、町の方針が守られる一方で、経済活動の在り方を模索し実行することには大いに意義ある。

(錦町商工会)

- ・ワクチンの接種が進む一方で、治療薬の利用が遅れている様に思う。治療薬が十分に行き渡ればコロナに感染しても風邪と同じ対応で済むようになると思う。社会経済活動を推進していくために治療薬の普及が望まれる。(南阿蘇村商工会)
- ・前回の施策では飲食店(個人経営)の小規模店では通常より利益が取れていた。あまり支援ばかりでは個人で対応出来なくなる。(八代市商工会)
- ・コロナ対策を行いつつ通常の経済活動をして良いとPRすべき。どこかでコロナ感染拡大するので、通常の経済活動を遠慮しないとイケない空気感がある。(天草市商工会)

【宿泊業】

- ・もっと早くそのようにして欲しかった。コロナ第5類への移行もスピードを上げて欲しい。未だに家庭での感染や濃厚接触者で出勤する人員にも大きな影響を出している。

(熊本市植木町商工会)

【飲食業】

- ・時短要請などの効果は薄いと思うため。(宇城市商工会)
- ・コロナ感染症に対応した営業を心掛けている。(苓北町商工会)
- ・感染対策と経済を回していかないと、飲食店をはじめすべての業種で潰れてしまう。

(熊本市植木町商工会)

[2. どちらかといえば評価する。]

【製造業】

- ・世界の情勢を踏まえて言えば、このまま共存していくことで経済活動及びイベントなども開催していくのが良いようにも感じる。今後、私たちも余力が残されている中で、経済活動をどのように維持していくのかの課題で少々不安である。国や県への要望としては、とてもよくやっているように感じるので感謝している事の方が大きい。(宇城市商工会)
- ・行動制限のお願いはしつつ旅行支援は継続するなどの矛盾した政策は見直して欲しい。諸外国のようにウィズコロナでの生活をもっと支援してほしい。(美里町商工会)

【運輸業】

- ・インバウンド需要、国内団体客需要の回復の対応をお願いしたい。(山鹿市商工会)
- ・経済活動は衰えないようにし、感染拡大防止は続けた方が良く思う。(上天草市商工会)

【卸売業】

- ・観光業全体的に人流は拡大しているが、全国旅行支援の影響がどこまで続くのか先行きに不安がある。(熊本市託麻商工会)

【小売業】

- ・飲食店への過度な給付金は良くない。(高森町商工会)
- ・全ての業務に支援してほしい。(南小国町商工会)
- ・経営者として、要請の強化をあまりして欲しくないが、経済が回ればよい。一つの方法として必要があると思う。(阿蘇市商工会)

【宿泊業】

- ・自粛要請は個人の物差しで考えるわけだから、熱があるとか、家族が感染したとか具体的な理由がないと判断が難しいと考える。やっとな回復傾向にある状況で不安をあおるような自粛の要請は困るので慎重な対応をお願いしたい。(山鹿市商工会)

【飲食業】

- ・行動制限がなければ支障はない。(山鹿市商工会)
- ・外国からの観光客や、全国旅行支援で往来の自由がなされている今、自粛の要請や会食の控えの要請など無駄である。(宇土市商工会)
- ・飲食店として自粛・時短要請が無い方向であることは評価できる。(産山村商工会)

【サービス業】

- ・社会活動の維持を優先する施策であり、評価する。(熊本市植木町商工会)

[3. どちらでもない。]

【製造業】

- ・第8波の今後の動き次第で、現時点ではどちらとも言えない。(益城町商工会)
- ・規制をしていなくても感染が拡大すれば経済が止まるし、規制しても経済は止まる。なにが正解なのかがわからない状況で、方針が中途半端になるのはよくない。(山都町商工会)

【建設業】

- ・経済の回復とのバランスを考えると妥当だと思うが、宣言を出すだけで政府が積極的に何かを対応しているわけでないと思うので、評価のしようがない。(熊本市植木町商工会)

【小売業】

- ・年末年始、忘年会シーズンとなり、第8波がどのようになるのか判断が難しいため。(益城町商工会)
- ・経済活動の維持は評価できるが、第8波が来たときは、必然的に経済が停滞する(第7波同様)ため、国・県が何らかの支援策を講じる必要があると思う。(山都町商工会)

【宿泊業】

- ・宣言があった時点で過剰に外出を控える人が多い傾向にある。メディア等の発信の仕方にも問題はあと思うが、対面事業者によってはシーズン中に売上げを上げなければいけない事業者もあるので、人命優先は絶対だが、そこで売上げを上げなければ事業継続にも影響するため、葛藤がある。(御船町商工会)

【飲食業】

- ・時短、休業は要請されなくても客足は戻りきっていない。時短、休業の要請があったとしても、時短協力金等の支援策があった状況の方が良かったと感じる。(熊本市植木町商工会)
- ・第8波の今後の動き次第でどちらとも言えない。当社だけに限って言えば、行動規制をして飲食店への時短要請協力金等を出していただけるとありがたい。(益城町商工会)
- ・飲食店への時短・休業の要請があったところで、どこまで感染者数に効果があるかわからないところがあるので要請しないというのも理解できますが、コロナ禍が売上げに影響している事実は変わらないのでどちらとも評価しがたいです。(あさぎり町商工会)

【サービス業】

- ・防止策は必要であるものの、イベント等の(過剰な)自粛は人口減少の著しい地域においては死活問題。(多良木町商工会)

[4. どちらかといえば評価しない。]

【製造業】

- ・国や県が要請を出したりしていると、経済が大きく前進していくとは思わないから。(熊本市富合商工会)

【建設業】

- ・コロナによる致死率も減少してきて、インフルエンザでの致死率とあまり変わらなくなってきたのではないのでしょうか。旅行や帰省の自粛はもうそろそろなくてよいのではと思います。(熊本市富合商工会)

【卸売業】

- ・第8波の後も第9波、第10波と続くと思いますので、自粛をしてもあまり意味がないと思う。(熊本市北部商工会)

【飲食業】

- ・飲食業にとってみれば、緊急事態宣言を出し補償もセットであればいいが、現在のように要請のみであれば、補償もなにもないので評価しない。(熊本市城南商工会)
- ・コロナ禍前と比較すると客足は減少しているため、時短営業や休業を行って協力金等の支援をしていただく方が助かります。(あさぎり町商工会)

【サービス業】

- ・自粛要請をして給付金などの手当てをお願いしたい。(熊本市河内商工会)

[5. 評価しない。]

【建設業】

- ・自粛を要請するなら補償は必要。自粛と経済活動の両立は無理。(錦町商工会)

【宿泊業】

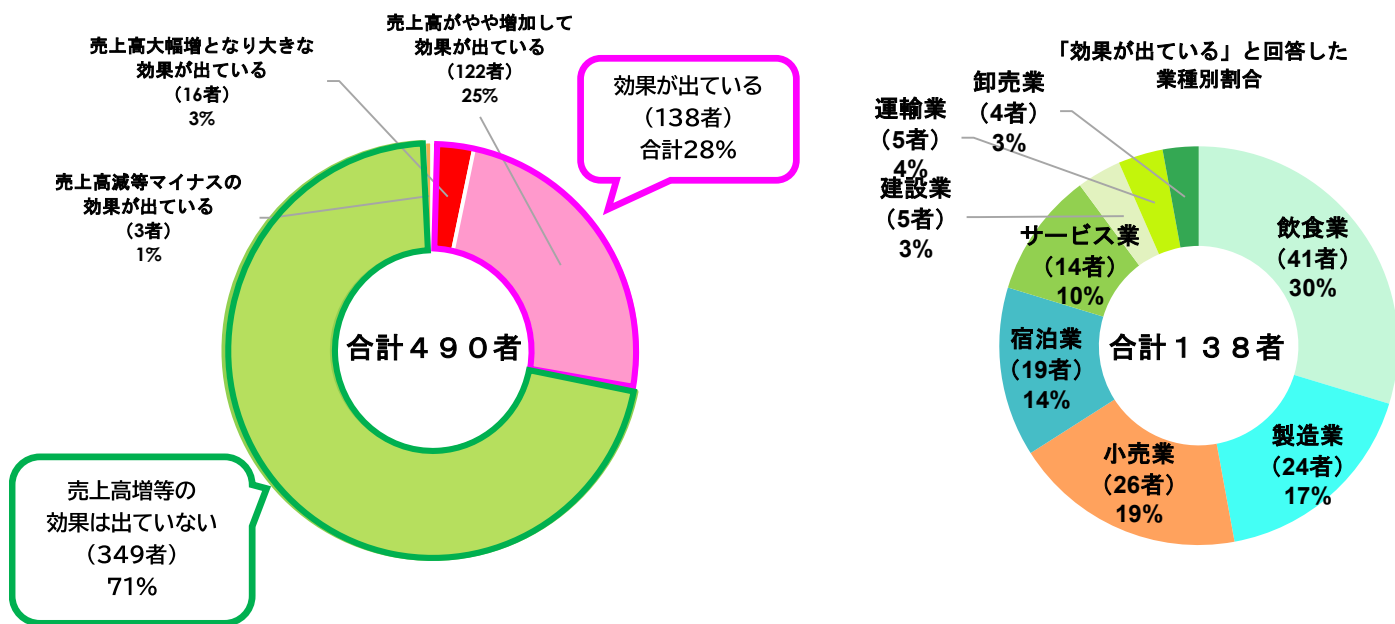
- ・国の方針が先行き不透明で、全国的又は世界的に感染者の症状について比較的に重症化しないのであれば、指針を示して第2類から第5類への転換を進めてほしいと思います。(上天草市商工会)

【飲食業】

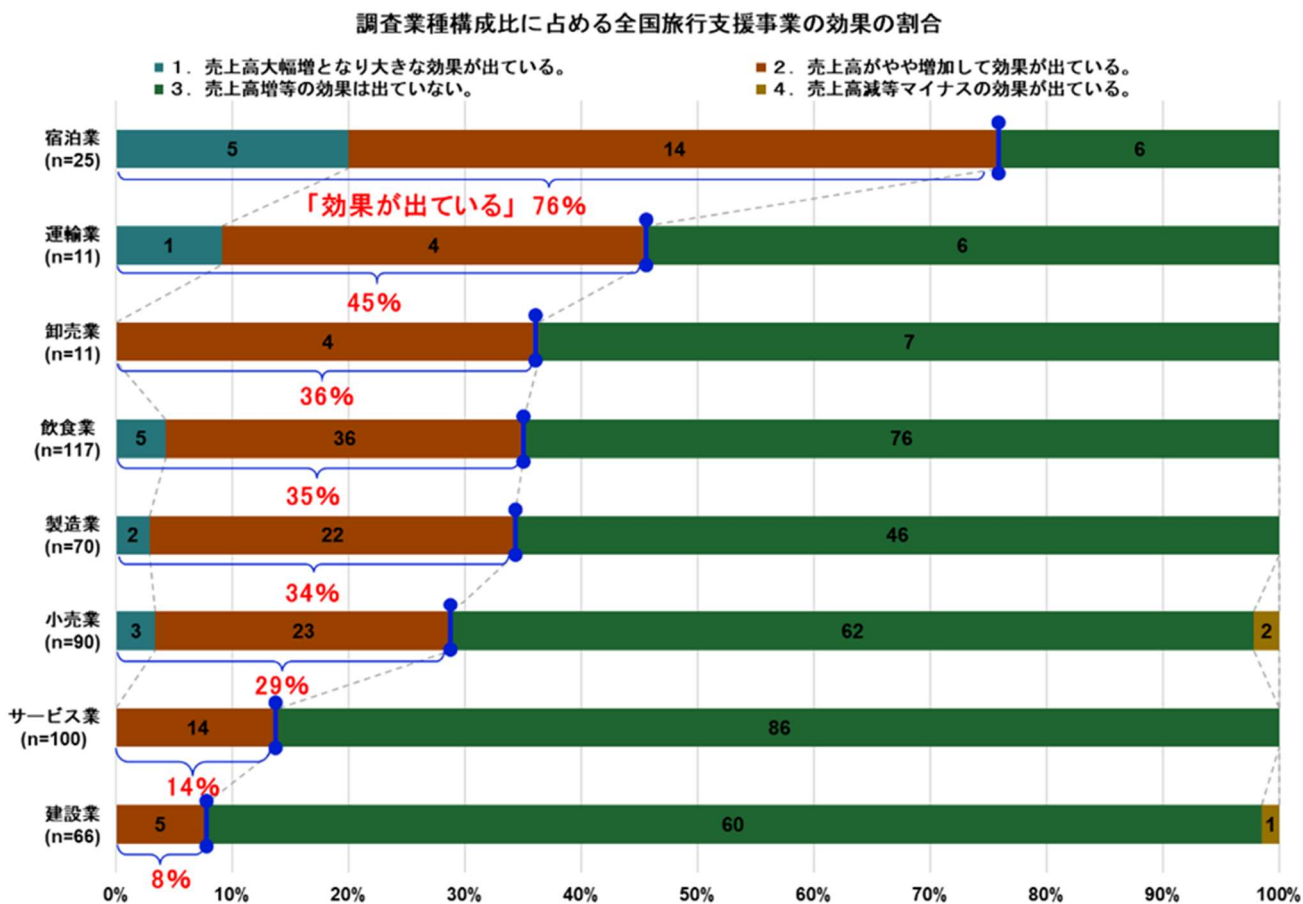
- ・ 外出や会食を控えるよう要請するため、売上げが減少するのに支援が無い。宿泊についても大部屋ではなく、個室対応をしなければならないため、支出（水道光熱費など）がかさむため、利益が取れない。（八代市商工会）
- ・ 全国旅行支援など人が動くように仕掛けているのに、動きを止めるのはもう止めた方がいいと思う。（産山村商工会）
- ・ 国・県等の要請で行動制限を付け、飲食業の収入を減らすことを指示しながら、何の補償もないため。（宇城市商工会）
- ・ 経済活動維持と言いながら人を止めるのは矛盾しています。とらえ方の対象を人にするのではなく、コロナウイルスの位置づけをするべきです。もう3年、4年経過しているにも関わらず同じ事を繰り返すのは無駄だと思います。誰もが罹患してしまう恐れのある病気としてとらえるべきではないでしょうか？（熊本市北部商工会）
- ・ 完全に収まってないので、要請ではなく、規制して事業者には補助をするべき。（多良木町商工会）

(5) 全国旅行支援事業の効果

ア 全国旅行支援の効果



※全国旅行支援事業により、全体の28%の事業者が「効果が出ている」と回答する一方で、71%の事業者が「効果が出ていない」、1%の事業者が「マイナスの効果が出ている」と回答した。



※業種別では、宿泊業の76%が「効果が出ている」と最も高くなり、運輸・卸売・飲食業等にも波及して「効果が出ている」割合が高くなった。

イ 全国旅行支援の効果（具体的内容）

[1. 売上高大幅増となり大きな効果が出ている。]

【製造業】

- ・直接的、間接的に大きな効果が見られたため。（益城町商工会）
- ・熊本市、県内もそうだが福岡を初め県外からのお客様が多くなっている。（熊本市植木町商工会）

【運輸業】

- ・観光客が増加している。（高森町商工会）

【小売業】

- ・売上拡大につながり、大きな成果が感じられたため。（益城町商工会）
- ・旅館やホテルへの取引があるため。（熊本市城南商工会）
- ・海外の方も増え、旅行者が増えているように思う。（阿蘇市商工会）

【宿泊業】

- ・お客様が予約を取る時に旅行支援のことを話されていて、旅行需要の効果が出たと思う。（山鹿市商工会）
- ・県内はもとより、県外のお客様が大きく増えた。（御船町商工会）
- ・もっと早くそのようにして欲しかった。コロナ第5類への移行もスピードを上げて欲しい。未だに家庭での感染や濃厚接触者で出勤する人員にも大きな影響を出している。（熊本市植木町商工会）

【飲食業】

- ・当社にとっても売上増加につながり、大いに効果が見られた。（益城町商工会）
- ・本渡地区のホテルが満室のおかげで、その他の町の宿泊施設の稼働率が良い。（天草市商工会）
- ・観光客の増加及び商品券の利用があっている事。（阿蘇市商工会）

[2. 売上高がやや増加して効果が出ている。]

【製造業】

- ・県外からのお客様の来店が増えたように思う。（菊陽町商工会）
- ・観光客向けの製品の受注が増加。（小国町商工会）
- ・宿泊施設や飲食店が稼働すればそれに伴い売上げも増える。（山都町商工会）
- ・観光客の増加で道の駅の売上げが増加。（阿蘇市商工会）

【建設業】

- ・宿泊業に対する仕事が増加し始める傾向にあるため。（阿蘇市商工会）

【運輸業】

- ・旅行支援事業の開始で予約が入り出した。（山都町商工会）

【卸売業】

- ・来客は増加しているが、スタッフ不足で通常営業が難しい。（熊本市託麻商工会）
- ・おみやげ品の馬刺などが好調である。（熊本市北部商工会）
- ・納品先からの注文が増えた。（山都町商工会）

【小売業】

- ・若干ではあるが、実際に波及効果がある。（熊本市植木町商工会）
- ・クーポン券持参の方々が来店されています。（八代市商工会）
- ・人流が活発になり、土産品としての購買額が向上した。（山都町商工会）

- ・クーポン券の利用で観光事業者全体の広がりを見せている。(南阿蘇村商工会)
- ・県外ナンバーの車両のお客様が以前よりも増えた。(玉名市商工会)

【宿泊業】

- ・客数増による売上げ増。(小国町商工会)
- ・宿泊業の支援割引でお客が増えた。(天草市商工会)
- ・もともと宿泊客の多い時期である。(南小国町商工会)
- ・人手不足により稼働率を上げられなかった。(南小国町商工会)
- ・全国旅行支援事業は一定の効果が出了。(甲佐町商工会)
- ・水上村は知名度が低いので、有名な観光地(阿蘇方面?)に効果は流れているのではないだろうか?(水上村商工会)

【飲食業】

- ・天草行き観光客が増えている。(宇城市商工会)
- ・開始された10月は、来店人数が確実に増えた。11月はもともと繁忙期である事から、影響がどのくらい出ているかはわからない。(南小国町商工会)
- ・観光客がほぼ例年並みにきているため、近隣の当店の顧客増につながった。(小国町商工会)
- ・当店でクーポンを利用するお客がいることから、売上げの増加に繋がっていると思う。(産山村商工会)
- ・全国的にイベント・祭事等があり人の動きが活発となり、若干ではあるが売上げが増えている。(氷川町商工会)
- ・素泊まり客の食事や弁当の注文がある。(山都町商工会)
- ・昼食時の来客数が増えている。(苓北町商工会)
- ・福岡県からのお客様や常連さんが多く来店された。(熊本市植木町商工会)

【サービス業】

- ・人の移動が多くなり増加傾向になっている。(錦町商工会)
- ・ホテル客室清掃に携わっている分は増加している。(山鹿市商工会)
- ・クーポン利用が1日で50枚(5万円)を越えるような状況であり、11月は約200枚のクーポン券利用があった。(加えて)お釣りが出ないので少しプラスするぐらいの買い物をしているケースが多く見受けられる。(天草市商工会)

[3. 売上高増等の効果は出ていない。]

【製造業】

- ・現時点では効果は出ていないが、出張がしやすくなるためこれから売上増につながることを期待しています。(玉東町商工会)
- ・旅行客が来ることを期待したが、思ったほど旅行客が来ていない。(熊本市託麻商工会)
- ・旅行支援でクーポン利用登録しているが、量販店やコンビニ利用に流れていると感じる。(菊池市商工会)
- ・旅行者のみでとどまっているのではないかと費用対効果が薄い。(大津町商工会)
- ・消費者が旅行にばかりお金を使って、他のことに消費をしなくなっている。(水上村商工会)
- ・宿泊業が設備投資するほどの余力と時間がなかったと思うから。(上天草市商工会)

【建設業】

- ・今のところは具体的な効果はないが、観光が復調すれば今後、間接的な波及効果は期待できると思う。(熊本市植木町商工会)

【運輸業】

- ・宿泊やみやげ店等良くなっているが、バス業界は変化なし。(高森町商工会)
- ・タクシー利用までの波及効果はみられない。(上天草市商工会)

【小売業】

- ・業種によって成果に大きな差がある。(錦町商工会)
- ・近くでは宿泊もない、観光地ではないから。(玉名市商工会)
- ・業種的に直接、間接的にも期待できない。(山都町商工会)
- ・観光客が来店するような立地でない。(天草市商工会)

【宿泊業】

- ・旅行支援事業に参入しておらず、特に効果も感じていない。(西原村商工会)
- ・既に満室なので分からない。(大津町商工会)
- ・観光という形で魅力が足りていない。消費者側としては、割引を利用して魅力的なところに宿泊したいのではないかと思う。(水上村商工会)

【飲食業】

- ・以前のように観光客が飲みに来ない。実感として効果を感じない。(熊本市植木町商工会)
- ・旅行クーポンをした事例が2枚しかない。(和水町商工会)
- ・利用者が少ない、町内に宿泊施設はあるが旅行支援を行っていない。(和水町商工会)
- ・個別の対応をしなければならないので、利益が取れないため、事業に参加していない。(八代市商工会)
- ・宇城市が旅行先に選ばれることは少なく、その効果も限定的であること。地元の方々がメインの顧客であるため。(宇城市商工会)
- ・地方には「全国旅行支援」の影響は少ない。地域クーポンの対象店だが、利用されたこともない。(水上村商工会)
- ・観光地に人が流れ集客減。(益城町商工会)

【サービス業】

- ・冠婚葬祭が通常に戻らないと効果がない。(熊本市河内商工会)
- ・自社の事業(美容室)ですが、直接的に影響がない。(熊本市城南商工会)
- ・自動車整備のため、顕著な効果は出ていない。(八代市商工会)
- ・観光地には数字として現れるが、地域格差があり効果がみえない。(多良木町商工会)

[4. 売上高減等マイナスの効果が出ている。]

【建設業】

- ・出張で泊まるホテルの金額のベースが上がったため。(錦町商工会)

【小売業】

- ・観光等は一般の小売業には無縁。(高森町商工会)
- ・衣料店にはメリットはなかった。消費者は衣料など抑えられるところから抑えるため。(美里町商工会)

ウ 全国旅行支援に対する意見や要望

【製造業】

- ・コロナウイルス感染者数が増えており、旅行がしづらい状況になっているので、支援の期間を延ばして欲しい。(熊本市託麻商工会)
- ・熊本は使用のお店が多くて助かっています。(水上村商工会)
- ・植木温泉へ宿泊されたお客様が立ち寄られることも多いので、今後も定期的に続けて欲しい。(熊本市植木町商工会)

【建設業】

- ・コロナの第8波が大きいものになったら、旅行支援は休止しても自粛は求めなくてもよいと思う。(熊本市富合商工会)
- ・旅行支援にお金を使うより、他に使って欲しい。(熊本市富合商工会)
- ・宿泊費のベースが上がっただけだと思う。(錦町商工会)

【運輸業】

- ・インバウンド需要、国内団体客需要の回復の対応をお願いしたい。(山鹿市商工会)

【卸売業】

- ・全国旅行支援は大いにいいと思う。(八代市商工会)
- ・感染拡大に繋がったので、失策である。(熊本市河内商工会)

【小売業】

- ・観光の復活が当地域においては一番経済効果が高いと思う。今後も観光需要を喚起する施策の継続を期待する。(熊本市植木町商工会)
- ・大きな効果はあったものの、同時に人の移動による感染拡大にもつながるため、判断が難しい。(益城町商工会)
- ・全国旅行支援事業そのものがわかりづらい。周知活動はもとより事業の制度設計が複雑なので簡単な支援がわかりやすい。(熊本市城南商工会)
- ・旅行をしたい者は支援が無くても行くはず。(高森町商工会)
- ・なぜ、宿泊業、飲食業限定で支援策があるのか？他の業種でも活用可能な支援策を考えてほしい。(天草市商工会)
- ・クーポンの期限が短すぎる。(御船町商工会)

【宿泊業】

- ・効果がある非常にありがたい支援策だが、現場では予約の対応で予算が無くなり補助がありきで宿泊されたお客さんが会計時にトラブルになることが多く收拾がつかないので、値引きで対応するなど接客する従業員が大変苦勞している。支援の予算の増額を望む。(山鹿市商工会)
- ・クーポン発行等では、宿側の業務が多く人出不足の中、仕事量が増えている。G o T oトラベル時のシステムを活用して欲しい。(現在は、各県によってまちまちなので全国統一で)(上天草市商工会)
- ・支援期間に付いて何度も変更が有り対応が大変でした。(高森町商工会)
- ・店舗による枠があり、直ぐに一杯となった。また、一斉に予約が入り満杯となり、その後は、断る対応などに苦慮しました。(菊池市商工会)
- ・1月上旬以降閑散期に入るが引き続き実施してほしい。(南小国町商工会)
- ・市外のクーポン券の利用可能店舗が非常に少ない。利用期間も短くなったので、団体に宿泊されたお客様がクーポンの金額が大きくなり、地方での利用先に困るといった状況が発生していた。この事業自体はとてもメリットのある事業なので、今後、もし同じような事業を行う際は、商工会からの斡旋などを行い、クーポン利用可能店舗増加の促進をしてほしい。(御船町商工会)

- ・毎回言っていますが、事務処理の煩雑さをどうかして欲しい。コールセンターの対応者で言っている事が全然違うのも本当に困る。忙しいうえに夜遅くまで事務処理に追われる毎日です。
(熊本市植木町商工会)

【飲食業】

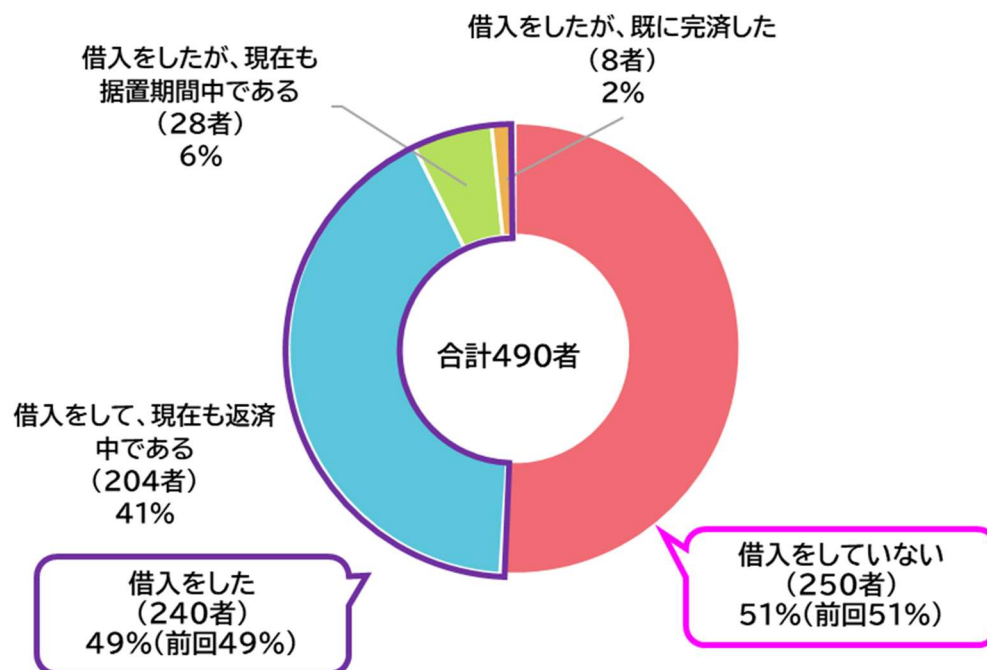
- ・直接的、間接的にも多いに効果が見られたので、ぜひとも継続してほしい。(益城町商工会)
- ・宣伝を大々的に行ってほしい、換金の手間が面倒である。(和水町商工会)
- ・飲食店に対する時短支援等と同じく、不公平感を感じる人が多い。(宇城市商工会)
- ・大いに実施するべきです。熊本の活気につながると思います。(熊本市北部商工会)
- ・飲食業などには直接効果はない。支援の幅を再考してほしい。(可能な範囲で検討を希望)
(錦町商工会)
- ・有名な観光地が主に利用されているように感じる。地方にまで行き届いていない。
(水上村商工会)
- ・11月2日売上げのチケット支払い分の入金で12月26日なので、売掛や従業員に支払う現金がない。やむなく銀行から借りて利子を支払っている。月2回の申請ではなく都度入金して欲しい。(山都町商工会)

【サービス業】

- ・観光が活性化すれば、経済全体に好影響が見込まれる。(熊本市植木町商工会)
- ・旅行支援策自体の必要性や有効性が理解できない。(宇城市商工会)
- ・全国規模にしたことで、感染拡大している。早急に中止すべき。(熊本市河内商工会)
- ・旅行業や飲食店などへは支援が手厚いが、他業種には希薄のような気がする。(美里町商工会)
- ・今回はクーポン券利用期間が短いことが当施設での利用を促進させている状況である。可能であれば支援の継続を要望したい。クーポン券の換金に時間が掛かるため資金繰りが厳しくなる。もう少し早く現金化できるようにしてほしい。(天草市商工会)

(6) コロナ関連融資について

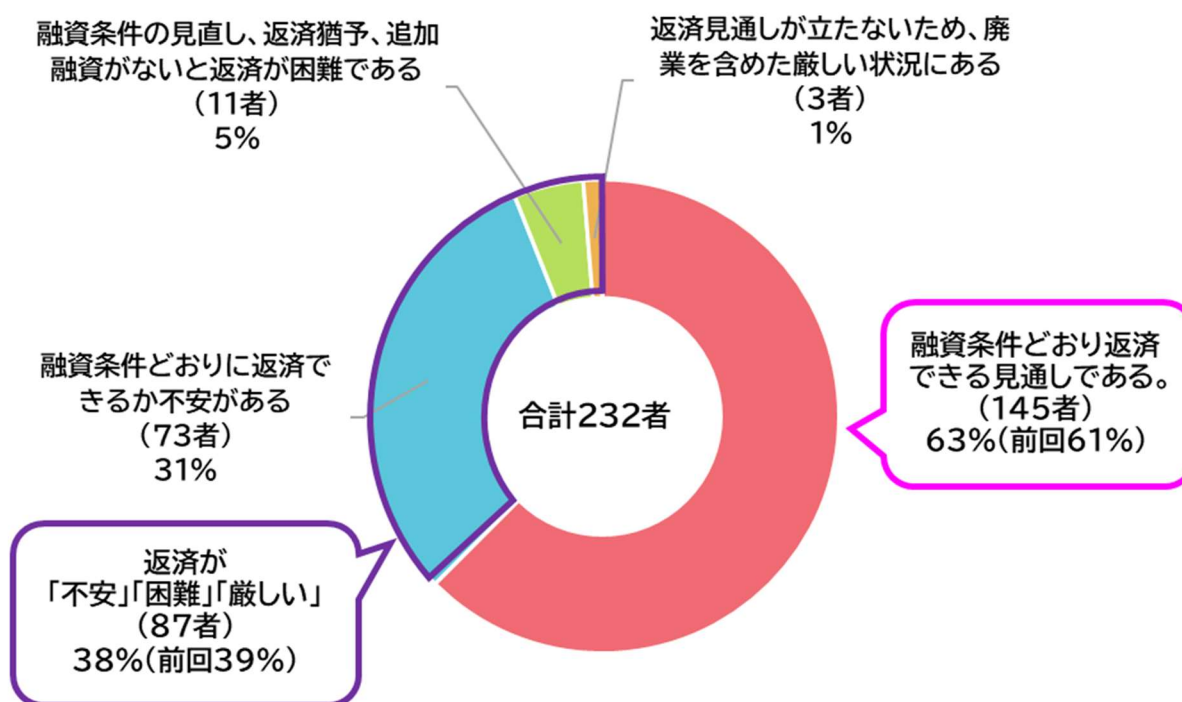
ア コロナ関連融資による借入状況



(注) コロナ関連融資は、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応して実施された政府系金融機関と民間金融機関による返済条件が優遇された融資。

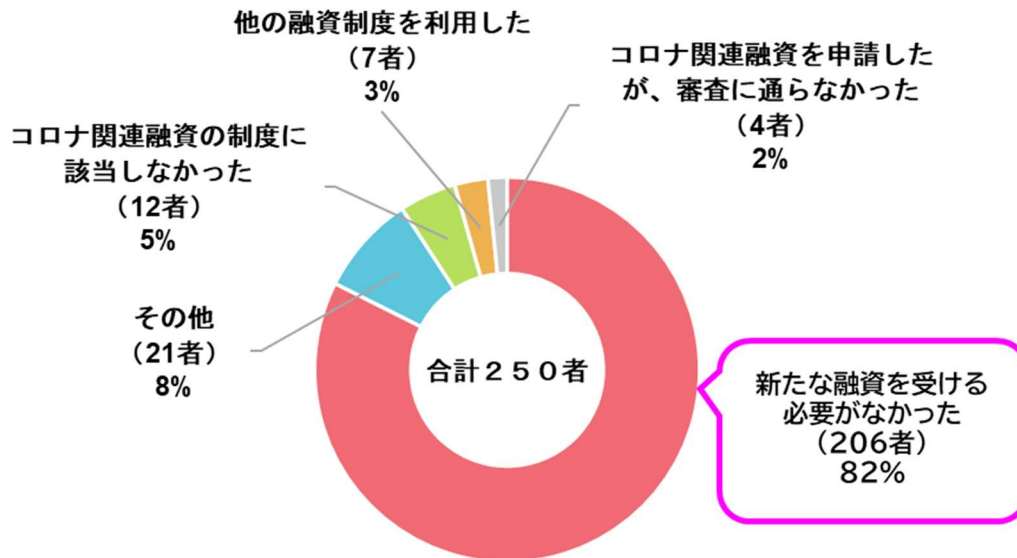
※「借入をしていない」割合が半数を超えて51%、「借入をした」が49%となり、7月調査、9月調査とそれぞれ同数で変化なしの結果となった。

イ コロナ関連融資の返済の見通し



※「条件どおり返済できる見通し」との回答が63%となり、7月調査の57%、9月調査の61%から増加した一方で、「返済が不安・困難・厳しい」が38%となり、7月調査の43%、9月調査の39%から減少した。

ウ コロナ関連融資・借入をしていない理由



※「借入をしていない」理由では、「その必要がなかった」との回答が82%となった。

【4. 借入していない】方の「その他」の理由

【製造業】

・借入するまでの影響なし。金融機関からは借りてくれと言われた。(熊本市河内商工会)

【建設業】

- ・融資の必要がないため。(南小国町商工会)
- ・借入をする必要がなかった。(御船町商工会)

【運輸業】

・借入しても、この先返済のめどが立たない。(高森町商工会)

【小売業】

・運転資金は支援金を補填したため。(玉名市商工会)

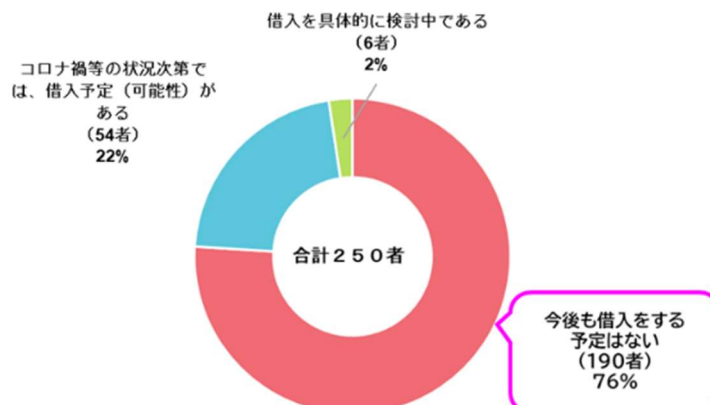
【飲食業】

- ・借入しても返済の見込みがないと思ったため。(多良木町商工会)
- ・持続化補助金・時短要請協力金・事業復活支援金等で運転資金の確保が出来ているため。(苓北町商工会)

【サービス業】

- ・コロナ以前に借入をしていて、支払いを先延ばしにしているため。(熊本市富合商工会)
- ・借入するほどまで収入減しなかった。給付金の支援もあった。(美里町商工会)

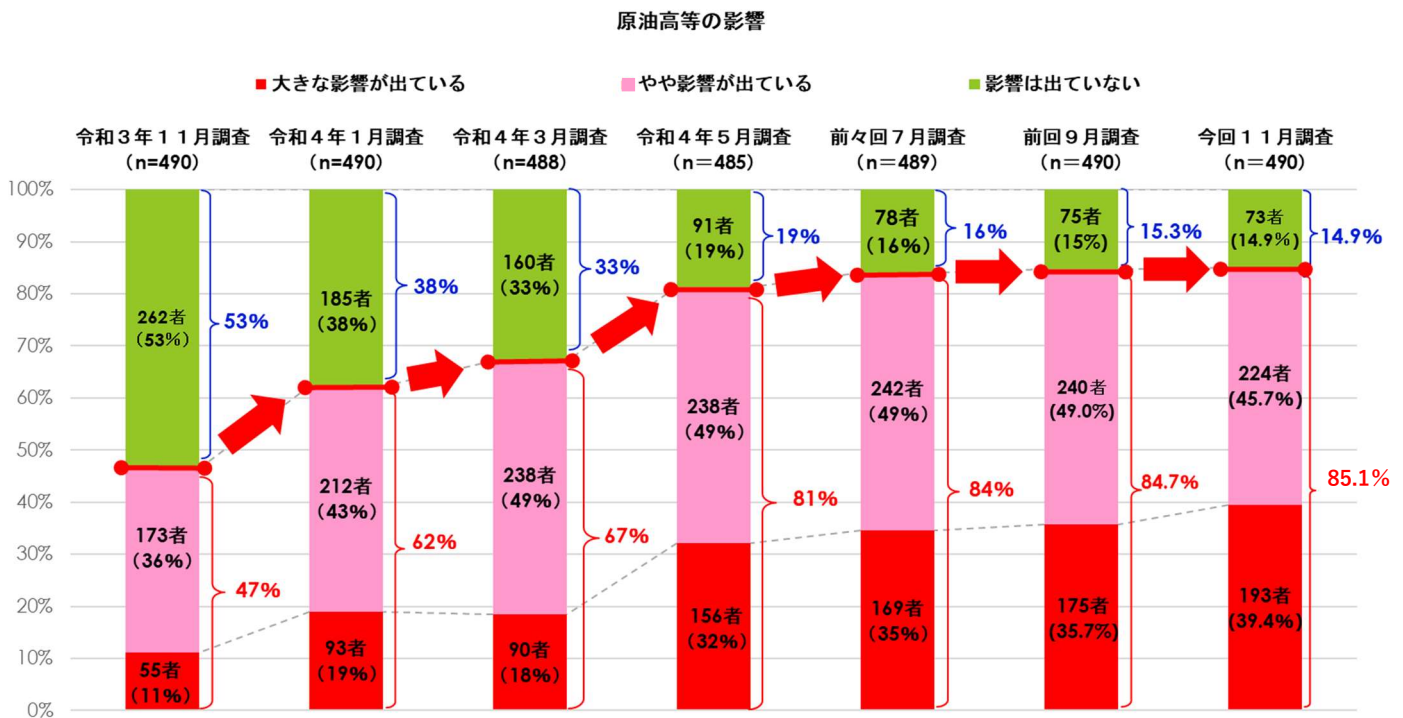
エ 今後の借入予定



※「今後の借入予定」については、「借入予定はない」との回答が76%となった。

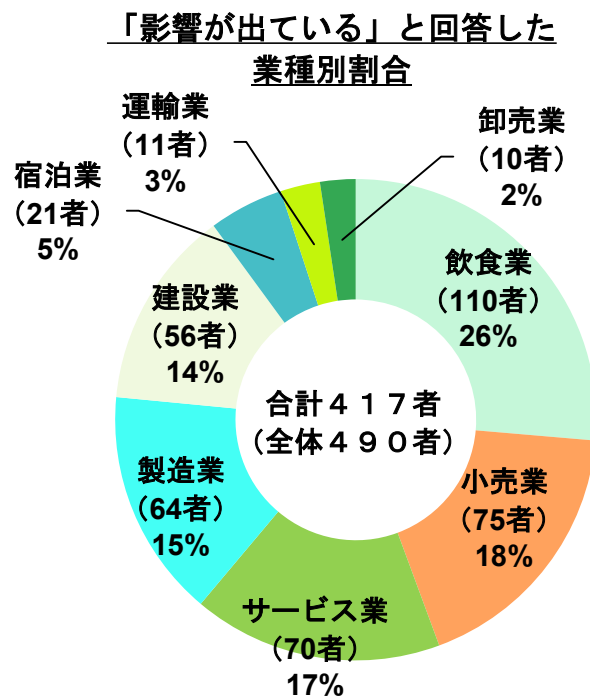
(7) 原油高、原材料費高、物価高、円安等の経営への影響について

ア 原油高等への影響

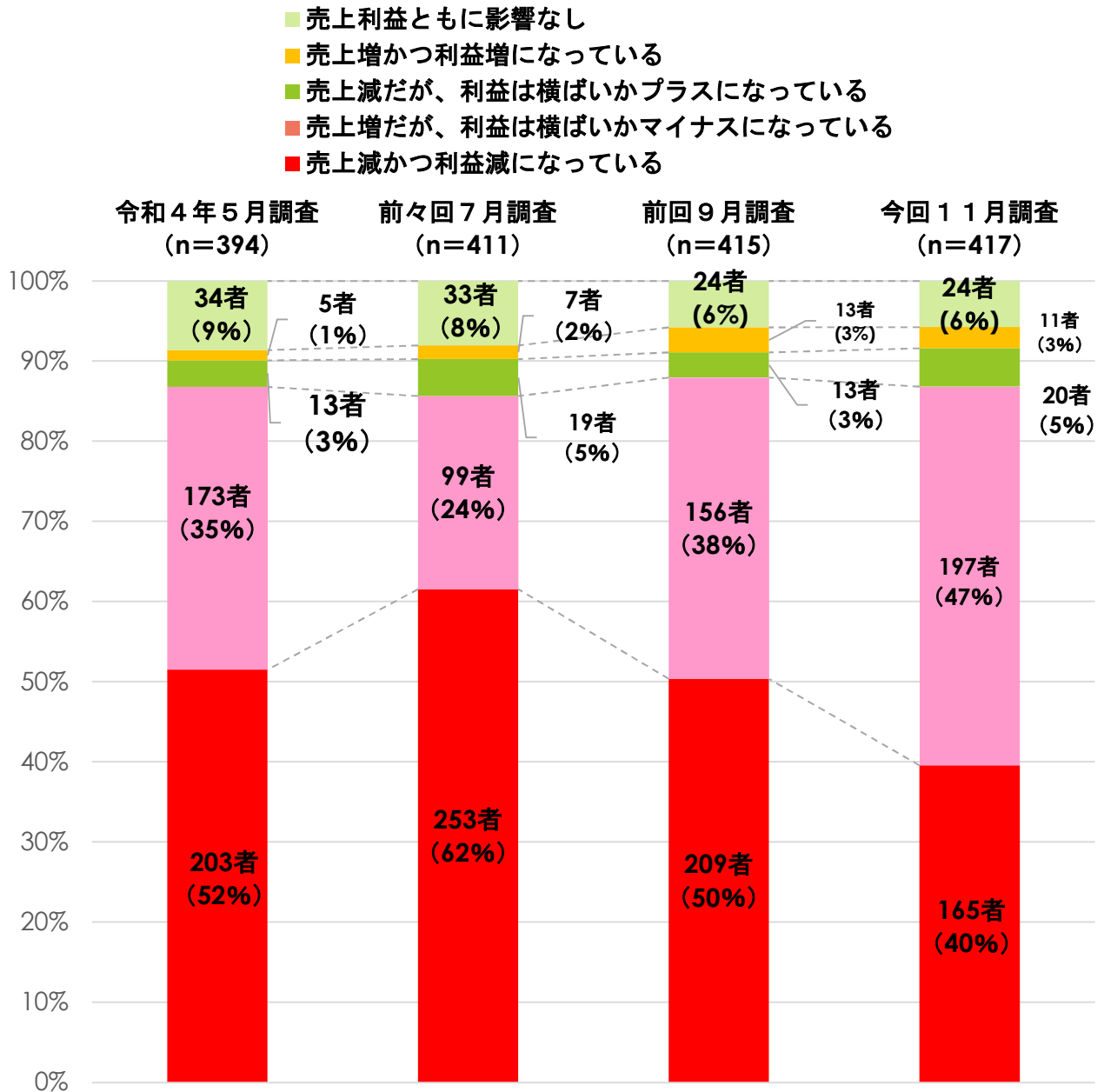


※昨年11月に原油高等の影響調査を開始して1年となったが、「影響が出ている」との回答割合が85.1%と過去最高となった。

業種別割合では、運輸業が11者中11者（100%）、飲食業が117者中110者（94%）、製造業が70者中64者（91%）、建設業が66者中56者（85%）、宿泊業が25者中21者（84%）と高くなっている。



イ 原油高等の売上・利益への影響



※価格転嫁が進んだことから、「売上増だが利益は横ばいかマイナス」の割合が、前回9月から9ポイント増えて47%となる一方で、「売上減かつ利益減」の割合が、前回から10ポイント減少して40%となった。

ウ 売上・利益への影響（具体的な内容）

[1. 売上減かつ利益減になっている。]

【製造業】

- ・材料費は上がっているが商品に価格を転嫁できていない。（熊本市託麻商工会）
- ・物価高騰による買い控え及び経営コスト増加による利益減少が続いている。（益城町商工会）
- ・原材料価格が高騰しているが販売価格に十分に転嫁できていないため。（宇城市商工会）
- ・消費者の買い控えによる売上減と仕入高などにより利益減となっている。（玉名市商工会）
- ・販売価格への価格転嫁によって割高感が生じ売上減となっている。（宇城市商工会）

【建設業】

- ・原材料高の影響が今までで最も大きいように思う。（八代市商工会）
- ・仕入れの値段が上がりまた、納期の遅れもある。（菊陽町商工会）
- ・経済が完全に回復していない。材料費の高騰により、メーカー値上げ、仕入れ価格が上がり、粗利減少。（菊陽町商工会）

【運輸業】

- ・燃油代が高騰しているため、利益が出ない。（和水町商工会）
- ・貸切バス運賃表による運賃の計算なので、独自に運賃を上げる方法がない。（高森町商工会）

【卸売業】

- ・住宅資材全てで値上げとなり、新築1棟当たりの単価が大幅に増加しているため、新築着工数が減少。（氷川町商工会）

【小売業】

- ・買い控えと材料費、袋や箱、電気、ガスの全てが上がって大変な状況。（宇土市商工会）
- ・価格の改定を実施したが、売上増にはつながらず、原価の高止まりで利益は減少している。（玉名市商工会）
- ・輸入に頼った仕入れをしており、事業に大きな影響を与えた。（熊本市城南商工会）
- ・顧客の節約志向である。当社はお菓子販売であるため、食品とは異なり、贅沢品の購入順番は後回しになるから。（玉名市商工会）

【宿泊業】

- ・円安による人材の流出による問題。（南小国町商工会）
- ・仕入れ価格の高騰だけでなく、温泉を沸かす燃料費、田舎なので移動手段としての車の燃料費など一般管理費の負担も大きくなってきている。（水上村商工会）

【飲食業】

- ・仕入れ原材料費が30～40%増となっているが、同じ割合を価格転換するのは厳しい。客離れが起こる。（玉東町商工会）
- ・原油高、原料費高の影響でほとんど食品や包材の仕入れは金額が上がったり入りにくくなったりしており、それを価格に転嫁できていない。（南小国町商工会）
- ・お客さんが物価高により出掛ける余裕も減っているし、ガソリン代の高騰により遠出もしにくくなっている。光熱費、材料代の高騰で利益も減少している。（産山村商工会）
- ・食材、調理用油、光熱費が上がり、かつ一般的な食材が上がることにより外食の機会が減ったと感じる。（山都町商工会）

【サービス業】

- ・物価高騰により、生活必需品でないようなサービス業は選ばれにくくなってきていると思います。（産山村商工会）

- ・発注は受けるが材料の納品まで時間がかかり、お客さんを待たせている状況。売上げになるのに時間がかかる。(熊本市植木町商工会)

[2. 売上増だが、利益は横ばいかマイナスになっている。]

【製造業】

- ・ 値上げ前の駆け込み需要により売上げは伸びたが、既に原材料の仕入れ価格は上がっているため。(玉東町商工会)
- ・ 原材料が高騰しているが、商品の価格アップが追いついていない。(山都町商工会)

【建設業】

- ・ 資材高騰のペースが早く、契約時に利益を見越して金額設定しているが、目標利益を確保することが難しい場合が多い。(熊本市植木町商工会)
- ・ 資材が高くなり、納期にも時間がかかったため。(阿蘇市商工会)
- ・ 原料高により価格転嫁しているため、売上げはあがっているが、原料高、原油高、物価高により経費面も上がり横ばいになっている。(錦町商工会)

【運輸業】

- ・ 運賃も値上げしたが、経費も値上がりしていないものは無いってくらい全てが上がっているため。(宇土市商工会)

【卸売業】

- ・ 仕入れ価格の変動が大きく、売上げへの転嫁が追いついていない。(熊本市託麻商工会)
- ・ 運送費用が増加し利益が減少しているが、値上げにより売上げも多少増加している。(産山村商工会)

【小売業】

- ・ 小売業を営んでおり、売上自体は上がっている、しかし、それ以上に仕入れ、運送コストが上がりすぎて利益はマイナスになっている。(益城町商工会)
- ・ 仕入れ価格が増加している。人件費も最低賃金増加により増加している。(和水町商工会)
- ・ 原油価格の高騰により燃料の仕入れも増加し、売上げも増加している。販売単価は周辺同業者にも合わせる必要があり、利益の確保が難しい。(産山村商工会)
- ・ 仕入金額が円安の影響で増えている。販売商品単価の値上げを試みた場合には、販売個数が伸びず減少する。(天草市商工会)

【宿泊業】

- ・ お客様がやっと戻ってきていてまだ値上げしていない。今後検討している。(山鹿市商工会)
- ・ 寒くなり、暖房費や温泉を沸かす燃料費の負担がすごく大きい。(水上村商工会)
- ・ 原材料、消耗品の価格が大幅に上がっていて、業者に交渉しても中々値下げに応じてもらえない(熊本市植木町商工会)

【飲食業】

- ・ 休みをなくし、営業日数を増やしたことで、売上げは増加しているが、利益については人件費増や原材料の高騰により、伸びていない状況である。(熊本市託麻商工会)
- ・ 旅行支援もあり、売上げは増加しているものの、コスト上昇をまかなえていない。(宇城市商工会)
- ・ 食材の値上がり、電気代等の値上がりにより利益が減少しており、観光シーズンでお客さんが増加していても利益は確保できていない。(産山村商工会)

・すべてにおいて原材料等の値上げで、利益が出なくなった。今後も、ガス料金、電気料金等の値上げでますます利益が無くなる。(宇土市商工会)

・最低賃金のアップも含めて価格転嫁には限界があり、クレジット払いも増えて利益がない。

(山都町商工会)

【サービス業】

・売上自体は堅調に推移しているものの、円安の影響で製品仕入値が高騰しており、売価に転嫁しているが、販売先からの値下げ要請の圧力も強く、統合して利益を圧縮している。

(熊本市植木町商工会)

・半導体の影響で部品の納品が遅れと部品の価格の上昇。(熊本市河内商工会)

[3. 売上減だが、利益は横ばいかプラスになっている。]

【製造業】

・お客様へ原材料の高騰分を説明して、実質値上げをお願いしているため。しかし売上げは減少している。(宇城市商工会)

【小売業】

・値上げによる買い控え。価格転嫁は出来ている。原油の動向など先行不透明感も影響している。(南阿蘇村商工会)

【飲食業】

・売上げは伸びないが、経費節減に努めており、利益の確保に繋げている。(苓北町商工会)

【サービス業】

・物価高騰による売上高の影響はあまりないが、利益は減少しているため。(宇城市商工会)

[4. 売上増かつ利益増になっている。]

【小売業】

・物価が上がっているので売上増になっている。コロナで持ち車にお金を掛ける人が多かったので利益増にも繋がっている。(熊本市託麻商工会)

・うまく価格転嫁できたため。(甲佐町商工会)

【飲食業】

・材料費の高騰に伴い価格の値上げも行ったが、客数は維持できている。(氷川町商工会)

【サービス業】

・既存の理容事業は順調であり、加えて補助金を活用した脱毛サービスの実施により増加している。(和水町商工会)

[5. 売上利益ともに影響なし。]

【製造業】

・原材料は上がったが、価格も上げたため。(上天草市商工会)

【飲食業】

・価格を上げ、利益は変わらない。(菊陽町商工会)

【サービス業】

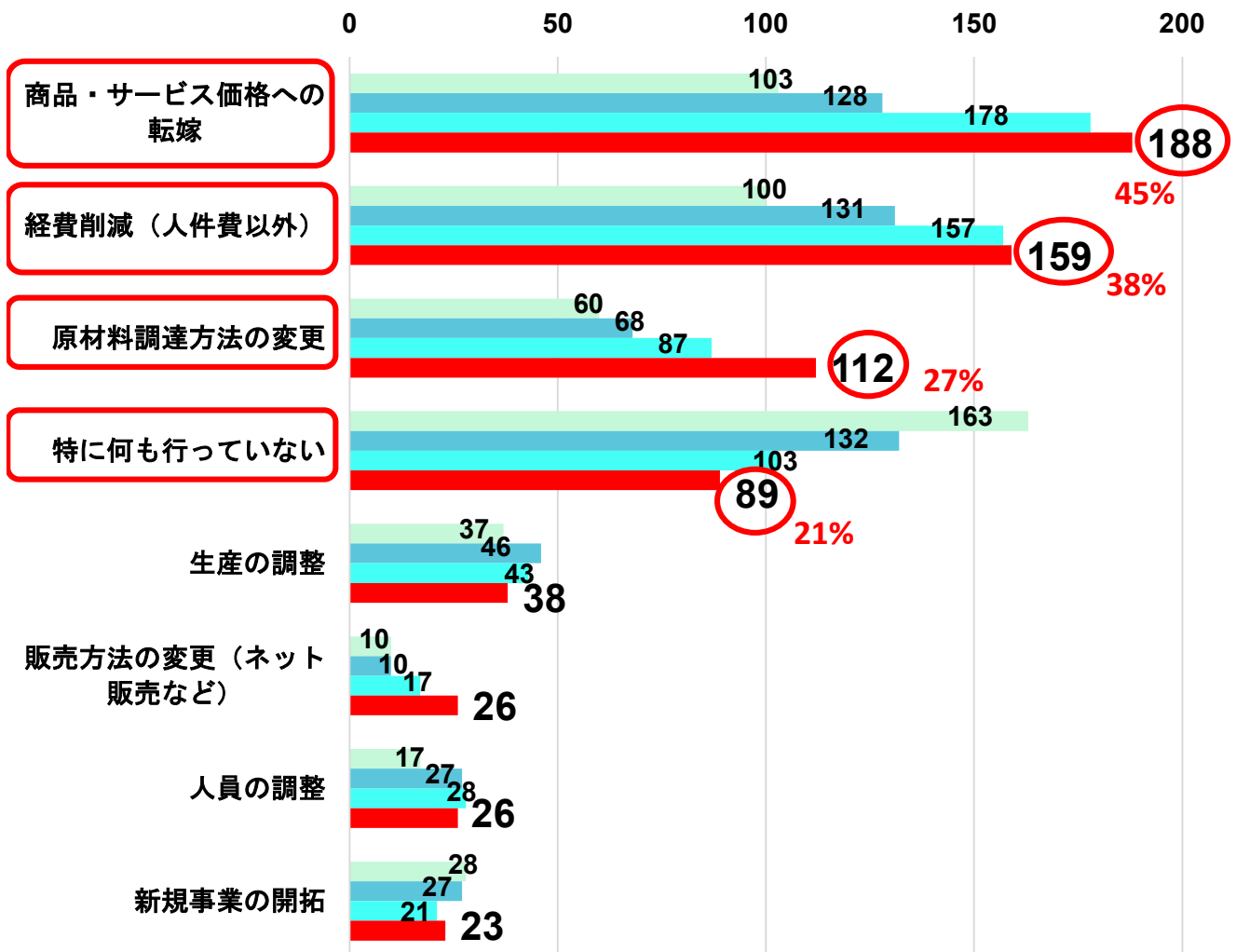
・ガソリン代など若干上がったが、その分経費削減で費用回収ができています。(熊本市城南商工会)

エ 原油高等の影響に対してこれまで行ってきた（現在行っている）対策

調査対象 417 者

5月回答数(n=518)
7月回答数(n=569)
9月回答数(n=634)
11月回答数(n=661)

■ 5月調査 ■ 前々回7月調査 ■ 前回9月調査 ■ 今回11月調査



※「価格転嫁」が45%、「経費削減」が38%、「原料調達方法の変更」が27%と、それぞれ前回から増加する一方で、「特に何も行っていない」が21%と減少した。

オ 原油高等の影響に対して今後予定している対策

調査対象 417 者

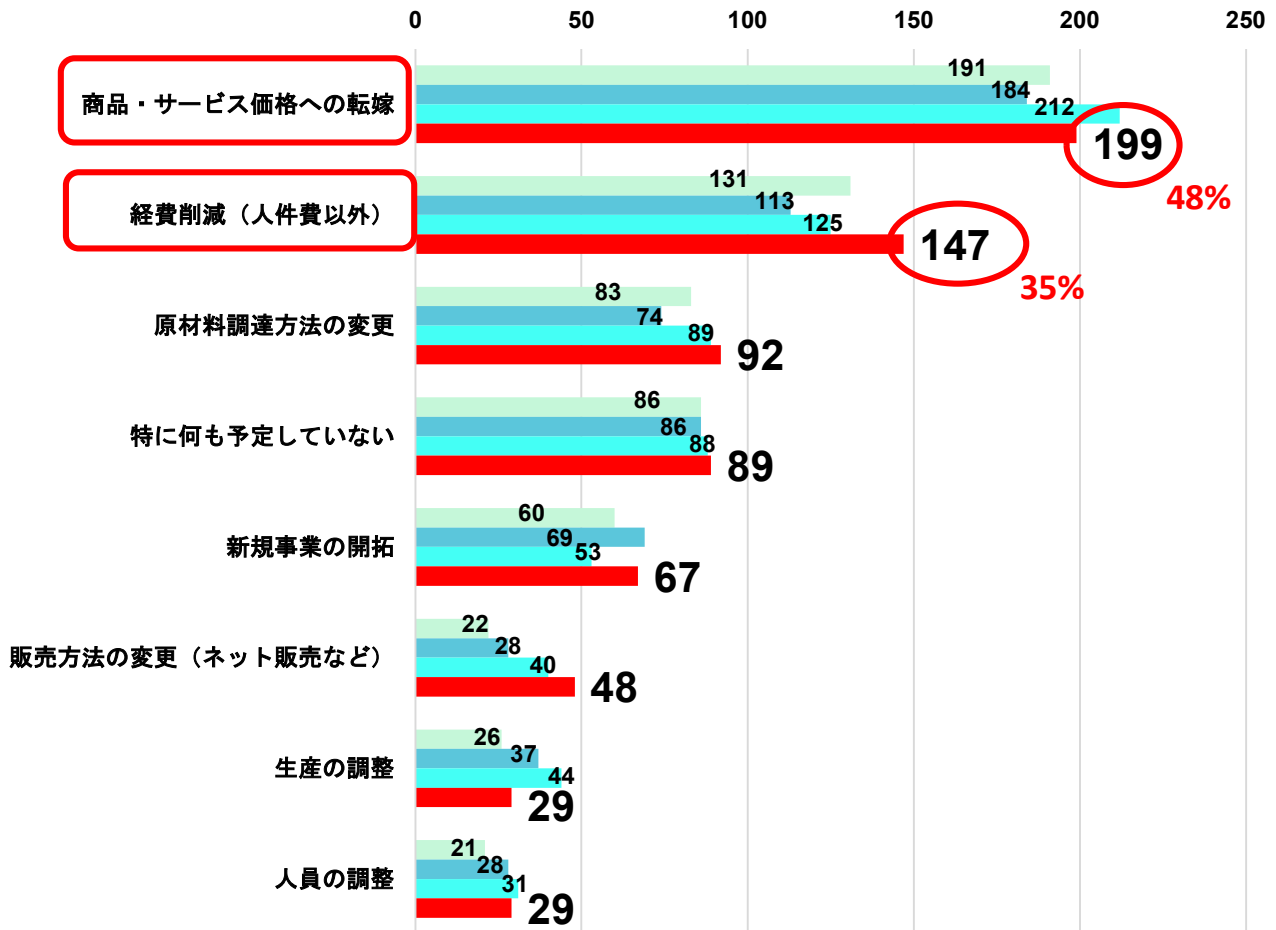
5月回答数(n=620)

7月回答数(n=619)

9月回答数(n=682)

11月回答数(n=700)

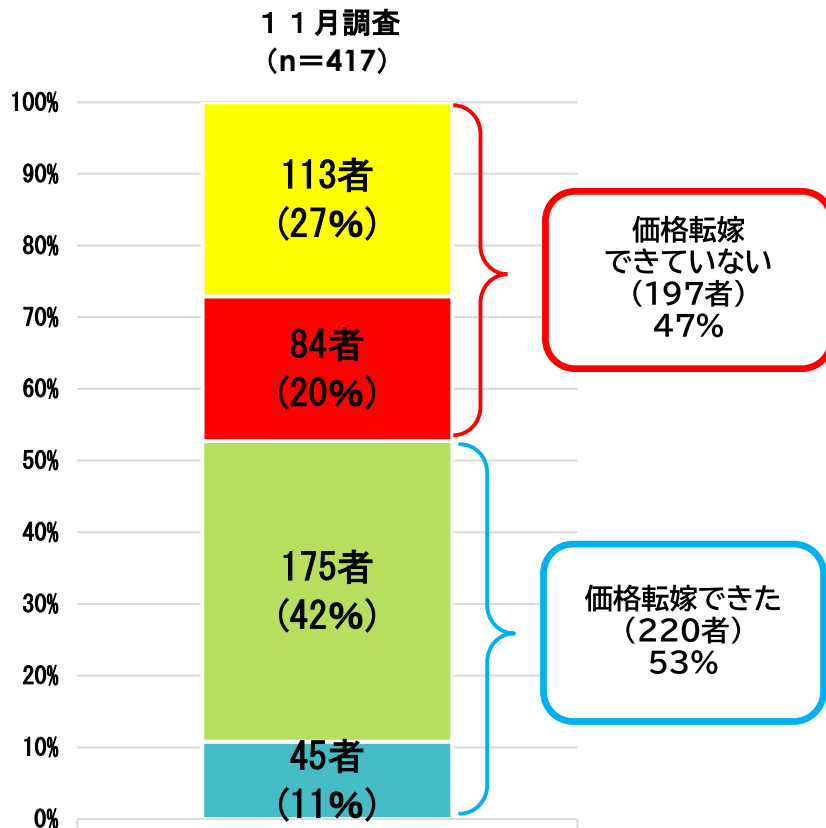
■ 5月調査 ■ 前々回7月調査 ■ 前回9月調査 ■ 今回11月調査



※「価格転嫁」の割合が48%と最も高くなっているが、「経費節減」も35%となり前回から5ポイント増えて35%となった。

カ 価格転嫁の状況

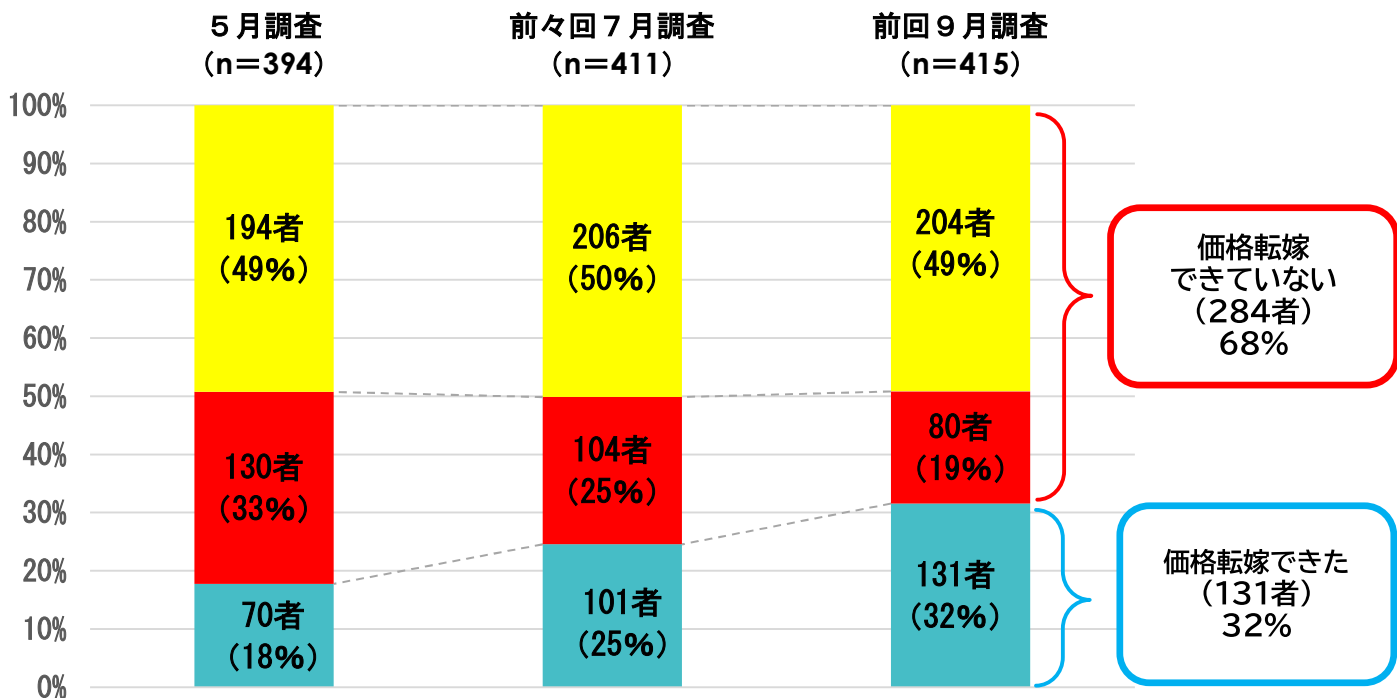
- 価格に転嫁できていないが、今後、価格転嫁を予定（検討）している。
- 価格に転嫁できておらず、今後もその予定はない。
- 価格転嫁はできたが、不十分である。
- 価格に十分転嫁できている。



※「価格転嫁できた」割合が合計で53%となり、今回から選択肢を追加した「価格転嫁はできたが不十分である」との回答が全体の42%と最も高くなった。

【参考】価格転嫁の状況（前回9月調査まで）

- 価格に転嫁できていないが、今後、価格転嫁を予定（検討）している
- 価格に転嫁できておらず、今後もその予定はない
- 価格に転嫁できている。



キ 価格転嫁の状況（具体的な内容）

[1. 価格に十分転嫁できている。]

【製造業】

- ・ 原材料の高騰分は上げているため。（宇城市商工会）

【小売業】

- ・ 部品代など単価が明確で転嫁しやすいものは転嫁ができている。消費者からの理解も得やすい。（熊本市城南商工会）

【宿泊業】

- ・ 県民割開始と同時に価格の値上げを行ったが、常連さんでも気づいている人はあまりいないと思われる。（熊本市植木町商工会）

【飲食業】

- ・ 一律180円アップしました。（菊陽町商工会）
- ・ 11月からさすがに100円～200円の値上げをさせていただいたが、その価格が妥当であるかどうかはお客様の判断になるので何とも言い難い面もある。（熊本市植木町商工会）

[2. 価格転嫁はできたが、不十分である。]

【製造業】

- ・ 価格には転嫁できているが利益に転嫁できているとは思えない。（和水町商工会）
- ・ 値上げは実施したが、それ以上に物資の価格が上がっている。商品価格を上げたいが、売上げとの兼ねいで十分な価格転嫁が出来ない。（高森町商工会）
- ・ 競合他社との関係もあり全てを価格転嫁できない。（宇土市商工会）
- ・ 年に複数回の仕入れ価格上昇では、販売価格への転嫁は追いつかない。（宇城市商工会）

【建設業】

- ・ 価格転嫁をして契約金額を設定するが、資材の高騰のスピードに追い付かない。（熊本市植木町商工会）
- ・ 見積りの段階から受注、施工、請求の短期間に原材料価格が上がっている。（熊本市河内商工会）
- ・ 見積もりからお客様にお引渡しするまで時間がかかる業種なので、お客様に前もってお話ししたり、仕入れ業者に相談している。（玉名市商工会）
- ・ 価格転嫁を行っているが、地域に根付いた会社であり、十分な価格転嫁には至っていない。（阿蘇市商工会）

【小売業】

- ・ 競合を考えると価格の改定に慎重になり、価格転嫁は不十分である。（熊本市植木町商工会）
- ・ 過去にも諸々の事情で販売価格を上げたことがある。結果は必ず客数・売上げのダウンとなった。今回も例外ではなく、販売価格の値上げを回避できないが、過去の経験からできるだけ遅く、できるだけ値上げ幅を小さくしたい。今のところそれしか方法がない。（錦町商工会）
- ・ 長年お世話になっている御客様に対して、全てを転嫁することはできません。（熊本市富合商工会）
- ・ 販売単価は周辺同業者との競争により限界ギリギリの設定をせざるを得なく、価格転嫁は十分とはいえない。（産山村商工会）

【宿泊業】

- ・ 価格に見合うだけのサービス（おもてなし）が提供できるかと、価格とのバランスの問題。
（上天草市商工会）
- ・ 値上げを行ったらお客様の需要意識は低下するため、十分な価格転嫁は出来なかった。
（菊池市商工会）

【飲食業】

- ・ 常に価格転換は行っているが、値上げ幅の割合やスピードが早すぎて大掛かりなパンフレットなど作り変えても追いつかない。これ以上の値上げは、お客さんがついて来られない。
（玉東町商工会）
- ・ 仕入れする品物が時間差で値上がりする。原価率を保つには今後も価格転嫁を予定。
（南阿蘇村商工会）
- ・ 11月から全ての料理を50円値上げしたが、本来であれば200円程度は上げたい。
（大津町商工会）
- ・ 6月に値上げしたが、その後も原油価格・原材料価格の引き上げがされており、更なる値上げは、客足の心配から厳しい状況である。（水上村商工会）

【サービス業】

- ・ 販売先からの値下げ要請も多く、価格転嫁は一部不十分である。（熊本市植木町商工会）
- ・ ウクライナ等の問題もあり、原材料の高騰が続いているため、価格等・量の見直しをする必要がある。（熊本市託麻商工会）
- ・ 完全に価格転嫁を行う事は、客離れの不安があるため実施できていない。（宇城市商工会）
- ・ 全てを転嫁するには値上げ額が大きくなりすぎる。（大津町商工会）

[3. 価格に転嫁できれおらず、今後もその予定はない。]

【建設業】

- ・ 請負業者の立場ではどうする事もできないから。（阿蘇市商工会）
- ・ 下請けのため、価格転嫁できない。（熊本市城南商工会）

【運輸業】

- ・ 価格転嫁すると取引先が無くなる可能性がある。（和水町商工会）

【小売業】

- ・ 現在の自社商品のターゲット層は高齢層であり、米の加工品（餅）が主な商品であり、ターゲット層の年金支給額が上がれば買ってくれると思うが、なかなか転嫁できないでいる。
（熊本市城南商工会）

【宿泊業】

- ・ 便乗値上げはしたくない。やりくりして対応する。（山鹿市商工会）

【飲食業】

- ・ 売価を上げると顧客がついて来ない、さらなる売上減少に繋がる。（和水町商工会）
- ・ メニューを見て客から「高くなったね」と言われるのが目に浮かびます。お客さんの負担をこれ以上増やす予定はありません。（熊本市北部商工会）
- ・ リピーターさんが遠方から来るため、値上げしづらいと考えている。（産山村商工会）

【サービス業】

- ・ 値上げはお客さんの減少に繋がるため、安易に値上げはできない。（産山村商工会）
- ・ 大手に顧客を取られるため、値上げは簡単にはできない。（多良木町商工会）

[4. 価格に転嫁できていないが、今後、価格転嫁を予定（検討）している。]

【製造業】

- ・ 客離れの心配があるが、年末年始を目途に10%以内で検討している。(益城町商工会)
- ・ これ以上原料費が高騰するなら検討する。(小国町商工会)

【小売業】

- ・ 年末年始にて、5～7%を予定している。(益城町商工会)

【宿泊業】

- ・ 料理の内容を変更し、併せて価格の変更を考えている。(山鹿市商工会)

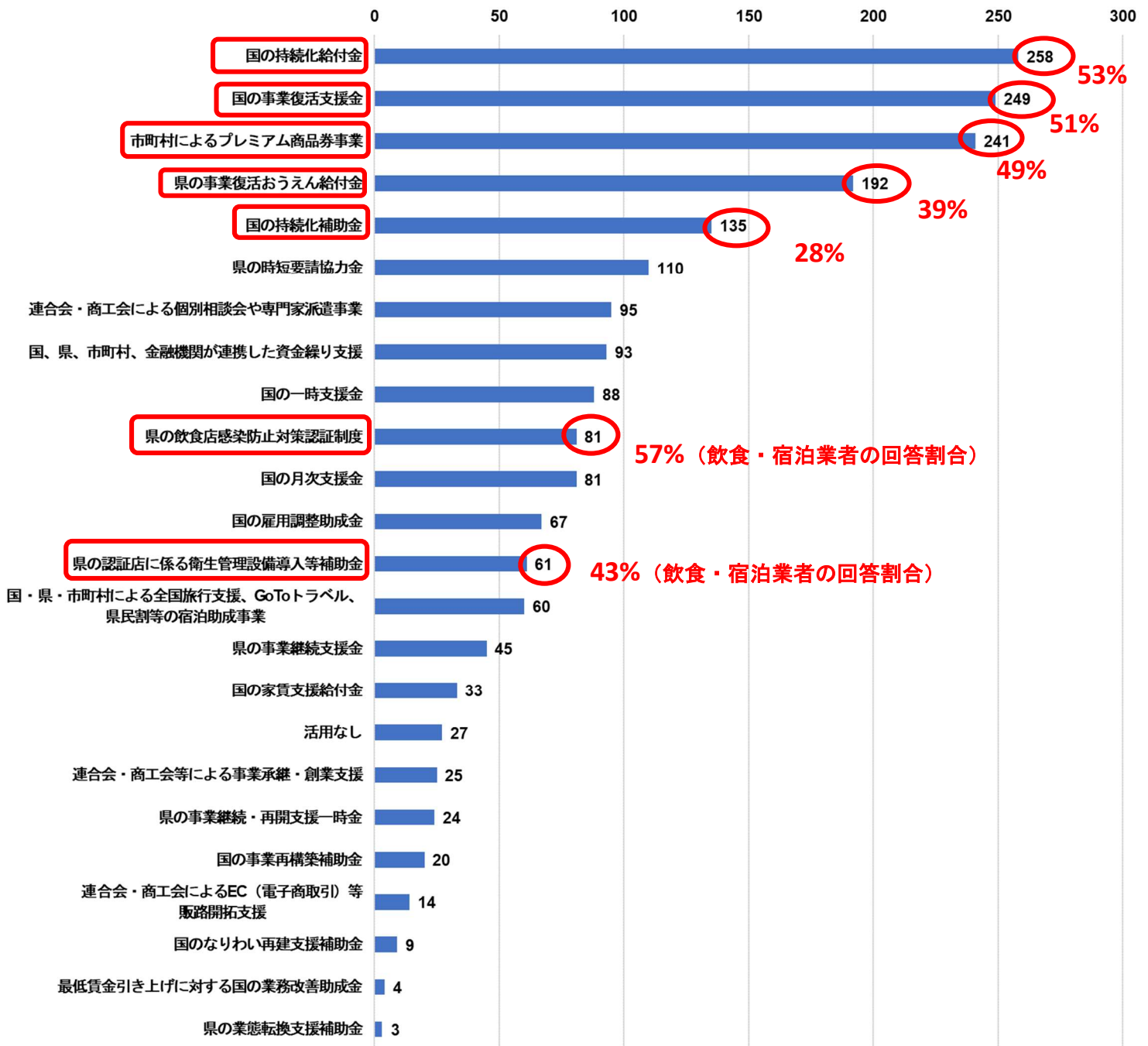
【飲食業】

- ・ これ以上原材料費があがるなら検討する。(小国町商工会)
- ・ 12月よりメニュー価格を上げる準備をしている。(南小国町商工会)
- ・ 固定客が多いため、価格転嫁は状況を十分に考えて検討していく。(八代市商工会)
- ・ R5年1月以降から価格に転嫁予定。(天草市商工会)

(8) 国、県、市町村、金融機関、商工会等が行う支援策で既に活用したもの
(事業継続に効果があったもの) について

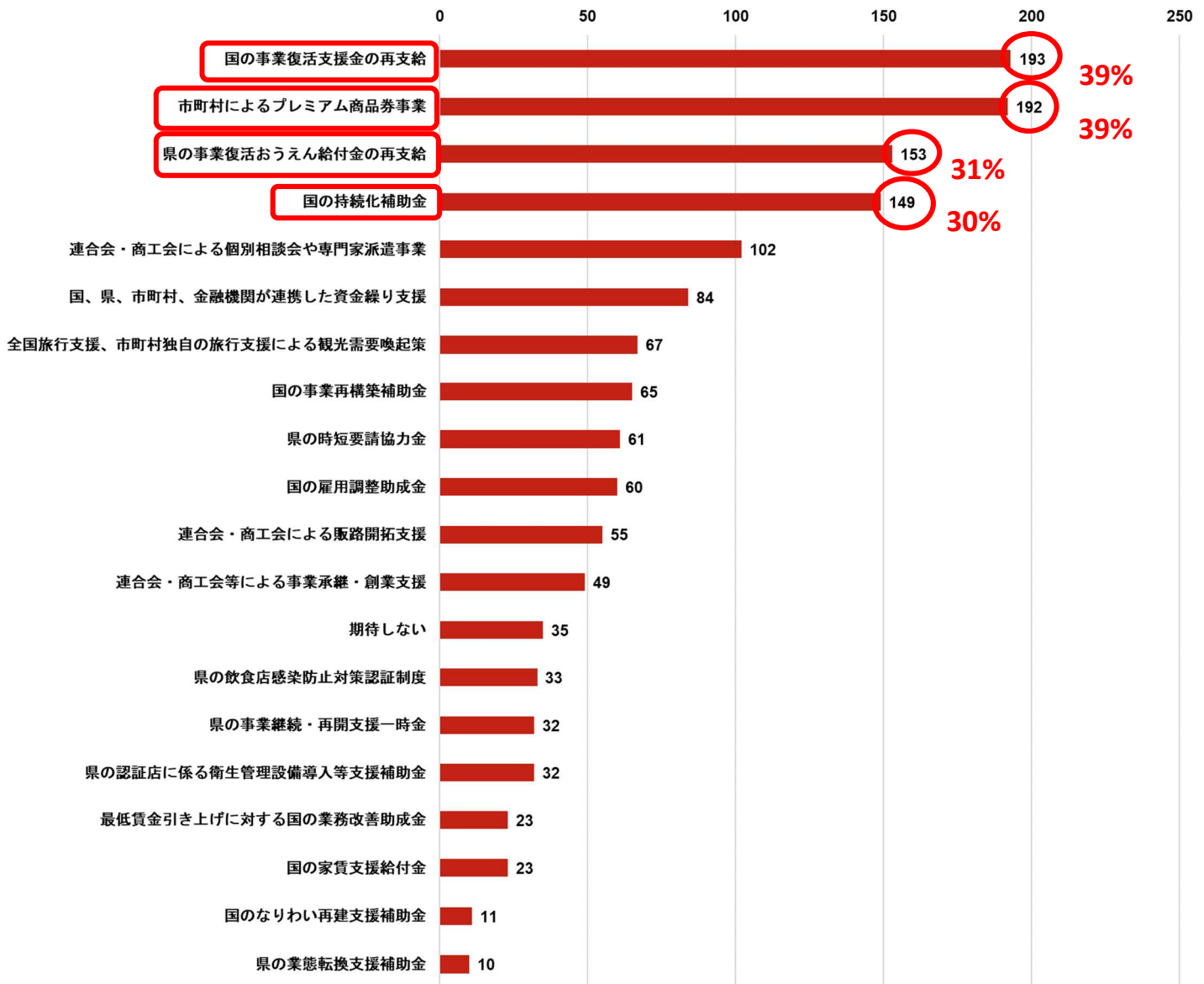
調査対象：490者

複数回答(n=2,015)



(9) 今後活用を予定(期待)している支援策について

調査対象：490者
複数回答(n=1,429)



※「国の事業復活支援金の再支給」が39%、「県の事業復活おうえん給付金の再支給」が31%と再度の直接給付を期待する回答が多く、市町村には「プレミアム商品券」の発行を期待する回答が39%と高くなっている。

(10) 新型コロナ対策、原油高対策、資金繰り等に関する支援策についての意見や要望

【製造業】

- ・ 農業者には、飼料高騰、燃料費UPに対して、助成金があるのに、どうして商工業には支援がないのか？（錦町商工会）
- ・ 支援策も大切だが、とにかく日本人は、今のような社会情勢になると守りに入りやすいように思う。国を守る、人を守るためにも、ましてや自分自身にもかかることなので、とにかくお金を使ってほしいと思う。地域のご商売をしている方々を応援してほしいと、いろんなところで提唱して行ってほしい。街を元気にしている存在だから。農業者と同じように商工業者も大切に考えてほしい。（宇城市商工会）
- ・ 物価高が続き経営状況が厳しくなる中、インボイス制度導入（実質的な増税）や電子帳簿保存法など小規模事業者にとって経営的にも事務的にも負担が大きくなる制度を導入しようとしているので、国や県の経営支援策自体の効果も限定的になるのではないかと危惧している。（宇城市商工会）
- ・ コロナ禍やロシアウクライナ戦争による物価高の影響で先が見通せない中、以前に比べると国・県が事業者支援に消極的になってきているのではないかと感じている。（宇城市商工会）

【建設業】

- ・ コロナだけではなく、円安やウクライナ問題により、全ての物の値段が上り今後も上昇傾向です。建築の場合は打合せ、見積り、契約の段階から工事完了まで半年から一年の期間が掛ります。その中で値上げが続いて行くと価格アップにより住宅ローンの見直しも必要になって来ます。建設業者側も利益率はもちろん下がって来ます。そんな状況で顧客は住宅を建設しようと思うのでしょうか？せめて、『衣食住』の生活の根幹となるべき所は消費税非課税にするなどの大幅な緩和が必要なのではないでしょうか。どんなに金利が低くても元金が大きくなりすぎれば限界があると思います。消費税廃止により元金は一割下がります。（八代市商工会）

【運輸業】

- ・ 前期まで国の支援金があり、何とか決算ができましたが、自己の資金もなく売上げも上がらず非常に難しい1年となっています。（天草市商工会）

【卸売業】

- ・ コロナ禍も4年目を迎えるが、益々大変な状況を迎えると思われる。国、県のいろんな支援金、助成金で助けられている状況です。ぜひともこのまま継続して欲しい。（八代市商工会）

【小売業】

- ・ 円安を是正してほしい。仕入価格の増加が大きい。（熊本市植木町商工会）
- ・ 自店、自身には直接影響はないにしても、国、県、市町村、金融機関、商工会等で行われた支援策で地域の経済環境の悪化が防がれている。そのおかげで、自店の売上等に悪化はあるけれども、最悪とまでには至らない。何とか生き延びられる状況にはある。（錦町商工会）
- ・ 支援先が宿泊・飲食業に偏りすぎている。様々な業種に均等な支援策を考えてほしい。（天草市商工会）
- ・ 商品券など町と相談し30%、40%上乘せできる思い切った施策を望む。（多良木町商工会）

【宿泊業】

- ・ 旅行支援の継続。（山鹿市商工会）
- ・ 商工会へ会員の抱える様々な問題に対して、すべての（国・県・市町村・金融）入口（窓口）としての役割を会員の立場となって対応してほしいものです。（上天草市商工会）

- ・県民割が終わってからが本当の勝負だと思っていますので、アフターコロナに対する資金繰りや補助金の支援をお願いしたい。(熊本市植木町商工会)

【飲食業】

- ・コロナ濃厚接触者、感染者の自粛期間をいい加減やめて欲しい。濃厚接触や保育園が休園するたびに出勤者が揃わず売上げを制限し続けながら営業をしている。予約のキャンセルも相変わらずあり、重症患者の割合がほとんどない中何をやらされているのか全く分からない。マスクをつける習慣も要らない。(玉東町商工会)
- ・コロナ関連融資について、3年間据え置きになっているが、5年間据え置きとか延長を考えてほしい。(宇土市商工会)

- ・飲食店、大型宴会場、結婚式場などの現場の声を本当に聞いてほしい。経営維持に苦しい事業は未だに多数あるので、売上向上や経費の削減、また成功事例などヒントになるものがあれば、商工会等を通じて共有してもらいたい。(錦町商工会)

- ・コロナ対策：小規模事業者において、従業員や経営者がコロナ感染により休業せざるを得ない場合の営業補償をしてほしい。

原油高：プレミアム商品券みたいにガソリン補助券を発行したらどうか。

資金繰り：ゼロゼロ融資の再開。(氷川町商工会)

- ・人手が足りず、個室を満席にできない。雇用に関する助成金をお願いする。事務手続きに時間が割けないので簡素化して欲しい。(山都町商工会)

- ・商工会には資金繰り相談や助成金の申請でお世話になりました。助成金等がないと事業の継続が難しいという方は多いと思うので、引き続き支援をお願いしたい。(あさぎり町商工会)

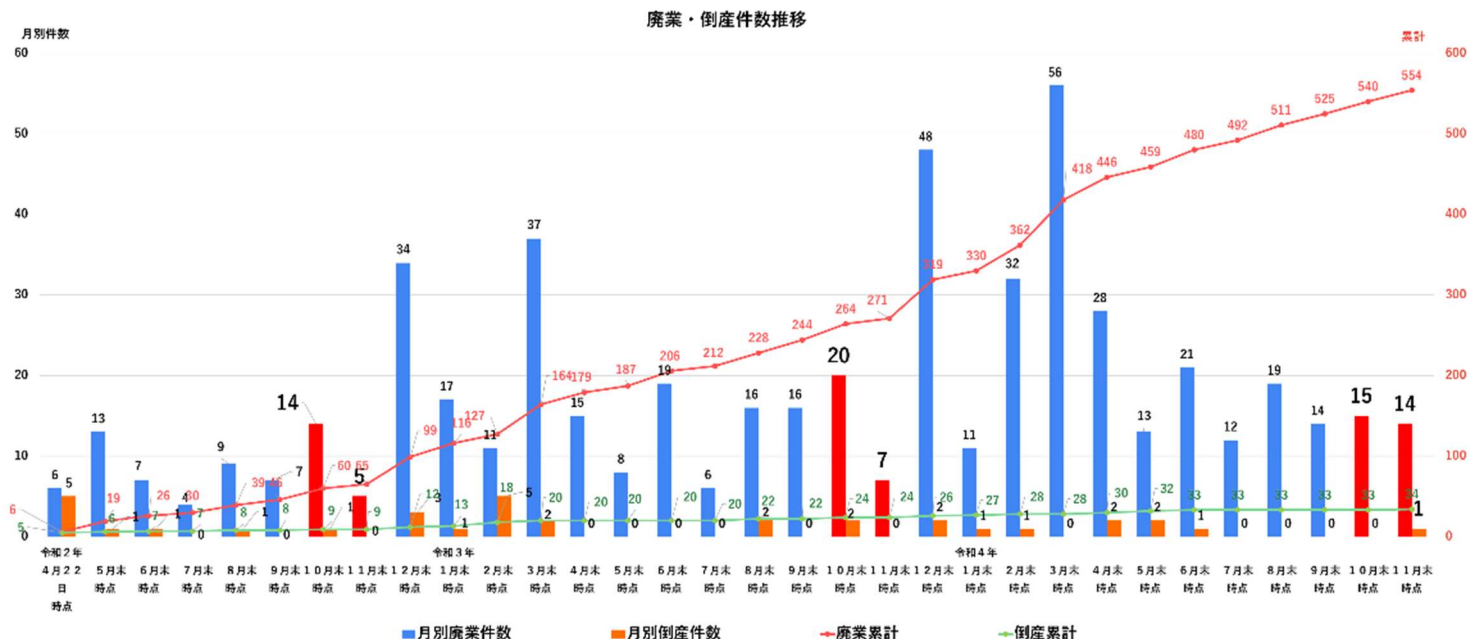
【サービス業】

- ・既に3年が経過したが、何も変わっていないような気がする。各種支援策も一部の業種のみ効果がみられるため、全体的に効果のある支援策を希望する。(熊本市河内商工会)

2. 廃業・倒産の状況

(県内49商工会の令和4年4月1日現在の会員18,116者を対象に月末時点で把握した数値)

・ 廃業累計 554件 ・ 倒産累計 34件



※廃業件数は、10月が15件（前年同月20件、前々年同月14件）と高止まりし、11月が14件（前年同月7件、前々年同月5件）と増加して、調査開始以来、累計で554件となった。一方で、倒産は11月に5か月ぶりに1件発生したが、引く続き低い水準が続いている。

※「廃業・倒産」の定義

廃業：資産が負債を上回る状態での自主的な事業廃止

倒産：企業が債務の支払不能状態に陥り、経済活動が続けることが困難になった状態

3. 熊本県商工会連合会の相談対応状況

(1) 県事業を活用した個別相談会の開催

【相談対応件数：2,839件】

- ・開催時期 令和2年4月13日～令和4年11月30日時点 1日6時間
- ・開催回数 663回
- ・うちホテル旅館開催型 11回
※商工会会議室に加え、経営状況の厳しいホテル旅館会議室も利用
- ・対象者 熊本地震や令和2年7月豪雨災害、新型コロナウイルス感染症の拡大に影響を受けた中小・小規模事業者
- ・相談対応者 中小企業診断士、社会保険労務士、特任経営指導員等
- ・対応内容 金融相談（資金繰り等）、労務相談（雇用関係等）、経営相談（給付金・補助金や各種支援策の活用等）、その他

(2) 県事業を活用した専門家派遣の実施

【派遣件数：576件】

- ・実施期間 令和2年9月15日～令和4年11月30日時点
- ・対象者 熊本地震や令和2年7月豪雨災害、新型コロナウイルス感染症の拡大に影響を受けた中小・小規模事業者
- ・相談対応者 エキスパートバンク登録専門家等
- ・対応内容 金融相談（資金繰り等）、労務相談（雇用関係等）、経営相談（助成金や支援策活用、経営改善、事業継続、事業承継等）、その他